



指揮者 ジョン・アクセルロッド

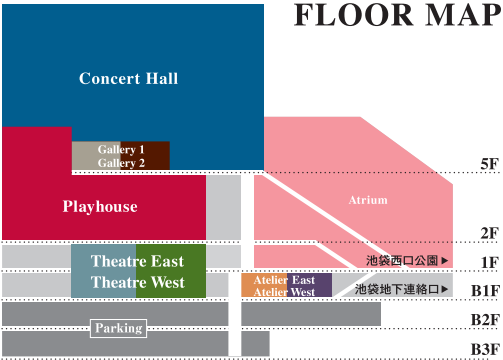
COVER PHOTO

N響JAZZ at 芸劇  
8月17日(水) 19:00開演  
コンサートホール

指揮:ジョン・アクセルロッド  
ピアノ:山中千尋  
管弦楽:NHK交響楽団

東京  
芸  
劇  
場

Tokyo  
Metropolitan  
Theatre



FLOOR MAP

1F 東京芸術劇場ボックスオフィス

(チケット・総合案内カウンター)

予約  
お問合せ | 0570-010-296  
(休館日を除く10:00~19:00)

5F 託児サービス だっこルーム

東京芸術劇場でご鑑賞のお客様の  
お子様をお預かりします。(要予約)

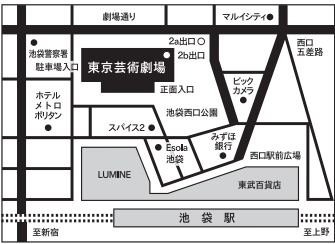
お問合せ | 03-3981-7003  
(平日10:00~17:00)

B2F・B3F 東京芸術劇場駐車場

利用料金 | 300円/30分

営業時間 | 7:00~24:00

お問合せ | 03-6914-0019



〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

開館時間 | 9:00~22:00 (休館日を除く)

お問合せ | 03-5391-2111

JR、東京メトロ、東武東上線、西武池袋線池袋駅西口より  
徒歩2分、池袋駅地下通路の2b出口に直結しています。

芸劇 BUZZ vol.16

2016年7・8・9月号

《編集・発行》東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) 《編集・デザイン》COM Works 《印刷》(株)技芸堂

平成28年6月25日発行

芸劇 BUZZ

TOKYO METROPOLITAN THEATRE EVENT INFORMATION

vol.16 2016

7.8.9.



特集・PICKUP

N響JAZZ at 芸劇

東京芸術劇場コンサートオペラ Vol.4  
モーツァルト／歌劇『コジ・ファン・トゥッテ』

辻井伸行 音楽と絵画コンサート

ブラスウィーク2016

ハイブオルガンコンサート Vol.21  
エドガー・クラップ オルガン・リサイタル

カミュー・ボワテル来日公演

芸劇dance

勅使川原三郎×山下洋輔

RooTS Vol.04  
「あの大鴉、さえも」

オックスフォード大学演劇協会(OUDS)来日公演  
「夏の夜の夢」

芸劇eyes

劇団子供鉅人

東京芸術劇場  
芸術監督

野田秀樹

俳優・  
演出家

リロ・バウアー

CALENDAR

7月・8月・9月

にゅ〜盆踊り／

東京フラフェスタ in 池袋／

大道芸 ほか

REPORT 国際共同制作 オン・ケンセン 演出  
「三代目、りちゃあど」世界初演

〈東京芸術劇場パートナー協賛企業・団体 ご芳名〉東京芸術劇場の年間事業運営に賛同し、ご支援してくださっている方々です。

アサヒグループホールディングス株式会社  
住友生命保険相互会社  
西池袋熱供給 株式会社

Bloomberg L.P.

株式会社資生堂  
大和証券株式会社

ギョーコマン株式会社  
住友化学株式会社  
トヨタ自動車株式会社  
明光義塾

株式会社イープラス  
ANAホールディングス株式会社  
株式会社エレパータシステムズ  
株式会社奥村組

オルガノ株式会社  
香山壽夫建築研究所  
国際興業株式会社  
三精テクノロジーズ株式会社  
サントリーホールディングス株式会社  
株式会社ジェイアール東日本ビルディング  
JXホールディングス株式会社  
西武鉄道株式会社  
ソニー銀行株式会社  
第一生命保険株式会社  
多摩美術大学  
株式会社帝国ホテル  
株式会社TBSテレビ  
株式会社テレビ朝日  
東京地下鉄株式会社  
株式会社東京ビッグサイト

東京臨海熱供給株式会社  
東武鉄道株式会社  
株式会社東武百貨店  
常盤興業株式会社  
凸版印刷三幸会  
日本生命保険相互会社  
日本テレビ放送網株式会社  
日本電信電話株式会社  
日本郵船株式会社  
びあ株式会社  
東日本旅客鉄道株式会社 池袋駅  
フジテック株式会社  
株式会社 フジテレビジョン  
HOTEL URBAN(ホテルアーバン)  
ホテルメトロポリタン  
株式会社マクロスジャパン

株式会社 松田平田設計  
株式会社 松村電機製作所  
丸茂電機株式会社  
三菱重工業株式会社  
株式会社三菱東京UFJ銀行  
ミュージックスタジオ・フォルテ  
ヤマハサウンドシステム株式会社  
養老乃瀧株式会社  
読売新聞東京本社  
立教大学  
株式会社ルミネ 池袋店  
レノゴー株式会社  
株式会社ローソンHMVエンタテイメント  
株式会社 WOWOW  
渡邊建設株式会社  
他 匿名3法人

2016年6月1日現在 (五十音順)

※東京芸術劇場では、パートナー協賛の申し込みを随時受け付けております。詳細は、公式HPをご覧ください。広報営業係担当まで直接お問合せください。 Tel. 03-5391-2117



NHK Symphony Orchestra, Tokyo - JAZZ at Tokyo Metropolitan Theatre

# N響JAZZ at 芸劇

## N響、アクセルロッドと山中千尋と、 ガーシュウィンで ドライブを

オーケストラのドライヴ感は、ほかの楽器編成ではありえない音色のパレットが豊かな、ダイナミック・レンジの広さゆえ。それがオケで聴くガーシュウィンの醍醐味。

オーケストラにも表情がある。指揮者やソリストによって表情が変わるだけじゃない。定期公演か、名曲演奏会か、独自のプログラムをやるか、はたまた、ホームグラウンドではないホールでの演奏かどうかでも、変わってくる。ここ、東京芸術劇場でNHK交響楽団が昨2015年にみせてくれたのは、シンフォニック・ジャズ。いわゆるクラシックとジャズとの結びついた作品で、バーンスタイン、エリントン、ガーシュウィンの作品がならんだ。今年はその第2回で、プログラムは「オール・ガーシュウィン」。

ラテンの生き生きとしたリズムが“オケの生演奏”を体感できる「キューバ序曲」からメロディーの宝庫たる『ボーギーとベス』、そして、オケの音とコントラストをなす、しかも技巧的なピアノ・ソロを加えての2曲。もともとミュージカルからとびだして、スタンダード曲として世界中で親しまれている「アイ・ガット・リズム」の特徴的な音型が、さまざまなかたちで変奏され、ときには中華街を彷彿させたりもする「アイ・ガット・リズム変奏曲」。そしてトリにはマンガでもドラマでも『のだめカンタービレ』で大きくクローズアップされた「ラブソディ・イン・ブルー」。中高生でこれに親しみいま大学生や社会人になった人たちもけっこういるんじゃないかな？　そして何より、ガーシュウィンのオケ曲は、“古き良きアメリカ”映画のひびき、その画面を想起させる音楽だ。しかも大草原とか沙漠じゃなくて、あくまで都会が舞台の映画。



ジョン・アクセルロッド  
©Stefano Bottesi



山中千尋

8月17日(水)19:00開演  
コンサートホール  
指揮：ジョン・アクセルロッド　ピアノ：山中千尋　管弦楽：NHK交響楽団  
～オール・ガーシュウィン・プログラム～  
キューバ序曲、交響的絵画『ボーギーとベス』、  
「アイ・ガット・リズム」変奏曲、ラブソディ・イン・ブルー

チケット  
発売中

【2公演セット券 (8/17N響JAZZ at 芸劇、9/17パーヴォ&N響)】SS席 12,000円　S席 10,560円　A席 9,120円　2公演同時購入で20%OFF  
※販売は8月16日(火)まで。※対象席種は、SS・S・A席のみ。※東京芸術劇場ボックスオフィス(電話・WEB)のみ取扱い。※販売状況により、取扱いが終了となる場合があります。主催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)／豊島区



この公演の指揮をするのは、昨年同様、ジョン・アクセルロッド。音楽のもっているドライヴ感、音楽を奏でる演奏家のからだのなかで何がおこっているのか、それをどんなふうにしていったら聴き手にも伝わり、ステージと客席とで共有することができるのかを、理論的にもまた感覚的にも伝えることができる指揮者だ。

そして、特筆すべきは山中千尋をソリストに迎えていること。これはいくら強調してもしすぎることはない。世界のジャズ・フェスティヴァルで、ライブハウスでひっぱりだこのこのピアニスト、いささか私事にわたるが、たまたまごとで昨年から今年にかけて、リハーサルから本番と何日かおつきあいさせていただいた。その演奏の集中度、テンションの高さ、圧倒的なドライヴ感、それこそ友人知人にアツク吹聴しまわったほど。一方、本番前にひとりでピアノを弾いているときに心身にあふれてる音楽の豊かさといったら！　スタンダードの曲やブギウギ、オリジナル曲のあいだに、ベートーヴェンが、ショパンが、ドビュッシーが、さっと姿をあらわし、さっと消える。べつの曲へと変わる。夢かとおもったのは(誇張ではない!)、スクリャービンのピアノ・ソナタがひびいたときだ。からだのたうつような上昇音型の激しさにとろけるような甘美さにおもわず鳥肌がたってしまったのだったが、このときほど裏方的な特権を(天に?)感謝したことはない。この人のなかではほんとうに、音楽として、ジャズもクラシックも一緒にあるんだ――。そんな山中千尋が、オーケストラとガーシュウィンを、「2」曲演奏するという豪華さ、贅沢さ。そして希少さ。これを逃すテはない。

わたしの楽しみはといえば、この指揮者、このピアニストとともに、オーケストラがどんな表情になるのかというのがひとつ。もうひとつ、オケのメンバーひとりひとりがきっと楽しんでいる、その個々の表情を見られそうだ、というところ。こんなプログラム、だから、かなり貴重だ。

文：小沼純一(早稲田大学教授／音楽・文芸批評家)

パーヴォ・ヤルヴィ&NHK交響楽団  
9月17日(土) 14:00開演  
コンサートホール  
指揮：パーヴォ・ヤルヴィ  
管弦楽：NHK交響楽団  
詳細は  
ムソルグスキー／交響詩『はげ山の一夜』(1867／原典版)  
武満 徹／ア・ウェイ・ア・ローンII、ハウ・スロー・ザ・ウィンド  
ムソルグスキー／歌劇『ボヴァンシチナ』より  
(R.コルサコフ編曲)　第4幕第2場への間奏曲  
「ゴリツィン公の流刑」  
ムソルグスキー(ラヴェル編曲)／組曲『展覧会の絵』 P13へ



パーヴォ・ヤルヴィ  
©Julia Baier



東京芸術劇場コンサートオペラ vol.4

# モーツァルト コジ・ファン・トゥッテ

歌劇  
全2幕

演奏会形式・原語上演  
(日本語字幕付)

## 謎に満ちた魅惑のオペラを最高のキャストで上演

東京芸術劇場コンサートオペラ・シリーズ第4弾はモーツァルトの傑作オペラ。  
名バリトン、トーマス・アレンと指揮者ジョナサン・ノットが手を組んだ企画。豪華ソリスト陣が結集。

「青ひげ公の城」「ドン・カルロス(フランス語パリ初演版)」そして「サムソンとデリラ」と、大好評を博してきた東京芸術劇場コンサートオペラ。今回の「コジ・ファン・トゥッテ」は、東京交響楽団を迎え、同楽団の音楽監督であるジョナサン・ノットが指揮者を務めることで、新たな展開を見せた。ノットは公演のディレクションを名バリトンのサー・トーマス・アレンに依頼。現代最高の旬の歌手たちが顔を揃えることになった。演奏会形式のオペラが大好きだというノットは、指揮だけでなく、この演目で重要なレチタティーヴォ部分の伴奏を、自らハンマーフルーゲルを演奏して行うことになった。ピアノやチェンバロとはまた違った繊細で典雅な響きが期待できる。

### 「女はみんな、どうしたもの？」

この作品、「女はみんなこうしたもの」という意味だという。台本作者のダ・ポンテが、新聞記事をもとに創作したとも言われるが、真相は不明。一見すると、たわいのない物語だ。美男の若者二人が恋人自慢をしているのをきいたモテない中年男が、彼等に賭けを持ちかける。若者たちは、恋人の貞節を賭け、お芝居をすることになるのだが、事態はとんでもない方向に動き出す。彼等の恋人たちは、変装して入れ替わった新しい相手の方に夢中になってしまったのだ。さて結末はどうなるのだろうか？

19世紀にはベートーヴェンを始めとする知識人たちから、不道德だと糾弾されたこともある作品だが、今は傑作として人気が高い。アンサンブルを中心とした繊細な音楽は、二組の恋人たちの奥底に潜む心理描写をも、細やかに描きだす。まるでテレビ・ドラマのようなストーリーは、現代の人たちにも

アppealする内容だ。女性心理を熟知していたモーツァルトが、いったい女はどうしたものかと言いたかったのだろう。「コジ」はそんな謎に満ちたオペラなのだ。

### 世界超一流のキャストにご注目

ディレクションを担当したサー・トーマス・アレンは、かつては最高のドン・ジョヴァンニ歌手と評された名バリトン。朗々とした美声に加え、演技力も抜群だ。訳知りの老哲学者、ドン・アルフォンソ役はザルツブルグ音楽祭を始め、世界各地で演じて高い評価を受けている。姉娘のフィオルディリージを歌うのは、この役を世界超一流歌劇場で歌っているミア・パーション。美人ソプラノとしても有名で演技にも定評がある。妹のドラベッラを歌うマイテ・ボーモンは実力派メゾとして人気が高い。フェルランド役のショーン・マゼイはザルツブルグ音楽祭やエクサンプロヴァンス音楽祭でもこの役を歌った端正な美声テノール。グリエルモ役のマルクス・ウェルバはドン・ジョヴァンニも得意とする美男バリトンで、日本でも人気が高い。デスビーナ役のヴァレンティナ・ファルカスはザルツブルグ音楽祭「後宮よりの逃走」のブロンデ役で人気になった実力派ソプラノ。いずれも「コジ」の舞台で充分な経験を積んだ名歌手が揃った。指揮のジョナサン・ノットはヨーロッパの歌劇場や音楽祭で大躍進を続ける名指揮者。モーツァルトの音楽を知り尽くしたノットが、音楽に焦点を当てたコンサート形式による公演で、この魅惑の作品に新たな光を当ててくれることだろう。

文：石戸谷結子(音楽評論家)

12月11日(日) 15:00開演　コンサートホール  
演奏会形式・原語上演(日本語字幕付)

指揮、ハンマーフルーゲル：ジョナサン・ノット  
舞台監修、ドン・アルフォンソ：サー・トーマス・アレン  
管弦楽：東京交響楽団　合唱：新国立劇場合唱団  
S席：12,000円　A席：9,000円　B席：6,000円  
C席：4,000円　D席：2,000円

チケット  
発売中



ドン・アルフォンソ役  
サー・トーマス・アレン  
©Susie Ahlburg



フィオルディリージ役  
ミア・パーション  
©Mina artistbilder



グリエルモ役  
マルクス・ウェルバ  
©Francesco Luciani



フェルランド役  
ショーン・マゼイ  
©Barbara Aurnuller



ドラベッラ役  
マイテ・ボーモン  
©Kirsten Nijhof



デスビーナ役  
ヴァレンティナ・ファルカス  
©Kirsten Nijhof

主催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)／  
川崎市／ミュージア川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)





## 辻井伸行 音楽と絵画コンサート

9月2日(金) 19:00開演 コンサートホール

詳細はP13へ



©Taji Hori

ピアノ：辻井伸行

文：伊熊よし子（音楽評論家）

【第1部】人気の自作×フォトグラフ

辻井伸行／美の巨人たち オープニング・テーマ、  
川のささやき、ロックフェラーの天使の羽 ほか

【第2部】クラシックの名曲×著名絵画

ドビュッシー／2つのアラベスク ラヴェル／亡き王女のためのパヴァーヌ  
ショパン／英雄ポロネーズ ほか

主催：エイベックス・クラシックス・インターナショナル  
東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）

## 東京芸術劇場 Presents ブラスウィーク2016

9月22日(木・祝) 14:00開演／9月30日(金) 19:00開演／11月1日(火) 19:00開演 コンサートホール

## 吹奏楽＆ブラスの世界的名門が居並ぶ豪華版

トップ級の吹奏楽団が個性を競う秋恒例の「ブラスウィーク」。今年は日英の老舗が集う。日本の顔＝東京佼成ウインドオーケストラは、吹奏楽の芸術性を追求する楽団らしく、正指揮者・大井剛史のタクトで、吹奏楽のための本格的な交響曲を3曲披露。同ジャンルの音楽性の高さを再認識させる。東京吹奏楽団は、皆が抱く吹奏楽のイメージに沿った親しみやすい演奏が特徴。

東京佼成ウインドオーケストラ

詳細はP14へ

第130回定期演奏会

9月22日(木・祝) 14:00開演

指揮：大井剛史

J.バーンズ／交響曲第3番 作品89 ほか

主催：佼成文化協会／東京佼成ウインドオーケストラ 大井剛史 ©K.Miura

東京吹奏楽団 第63回定期演奏会

9月30日(金) 19:00開演

指揮：小林恵子

R.Rベネット／

古いアメリカ舞曲による組曲 ほか

主催：東京吹奏楽団

詳細はP14へ

ブラック・ダイク・バンド

11月1日(火) 19:00開演

指揮：ニコラス・チャイルズ

グレイアム／

深紅と黄金の交響曲 ほか

主催：ジャパン・アーツ

詳細はHPへ



ニコラス・チャイルズ

ブラスウィーク2016  
3公演セット券

各公演1,000円割引×3公演  
＝合計3,000円割引！  
13,400円（限定50セット）

※東京芸術劇場ボックスオフィスでのみ数量限定販売

チケット発売中

主催：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）

バンドクリニック『中・高生のための楽しい吹奏楽』10月2日(日) 12:45開式予定 詳細はHPにて発表

## 東京芸術劇場 パイプオルガンコンサートVol.21 エドガー・クラップ オルガン・リサイタル

10月25日(火) 19:00開演 コンサートホール

詳細はHPへ



オルガン：エドガー・クラップ

文：小林英之（東京芸術劇場オルガニスト）

J.S.バッハと

J.S.バッハ／前奏曲とフーガ 二長調 BWV532、トリオ・ソナタ第5番 八長調 BWV529、パッサカリア 八短調 BWV582

レーガー（没後100年） レーガー／交響的幻想曲とフーガ Op.57 「地獄」 ほか

【全席指定】一般：3,000円 ペア券：5,000円 25歳以下：2,000円

※ペア券・25歳以下チケットは前売のみ。  
※25歳以下チケットは東京芸術劇場ボックスオフィスでのみ取り扱い。公演当日チケット引換時要証明書提示。 主催：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）

チケット発売中

## 音楽事業シーズン・プログラム 2016.7▶2017.3

公演の詳細・最新情報は東京芸術劇場HP  
<http://www.geigeki.jp/>をご覧ください。

日 程			開演時間	公 演	チケット発売日
2016	7.1	金	19:00	東京芸術劇場 Presents クラシカル・プレイヤーズ東京演奏会 指揮：有田正広 フォルテピアノ：仲道郁代	発 売 中
	7.19	火	12:15	ランチタイム・パイプオルガンコンサートVol.117 オルガン：ジョン・ウォルトハウゼン	発 売 中
	8.3	水	19:30	ナイトタイム・パイプオルガンコンサートVol.15 オルガン：小林英之 トランペット：山本英助	発 売 中
	8.17	水	19:00	N響JAZZ at 芸劇 指揮：ジョン・アクセルロッド ピアノ：山中千尋 管弦楽：NHK交響楽団	発 売 中
	8.24	水	11:00	【芸劇・提携事業】芸劇ランチ・コンサート第3回「清水和音の英雄ポロネーズ」ピアノの魅力が満載！ ピアノ：清水和音 ナビゲーター：八塩圭子 主催：毎日新聞社／MIYAZAWA & Co.	発 売 中
	9.2	金	19:00	辻井伸行 音楽と絵画コンサート ピアノ：辻井伸行	発 売 中
	9.13	火	14:00	パイプオルガン講座第65回 ― 音のレシピのひみつ ― 第1回 パリのオルガニストたち 講師：新山恵理 副講師：平井靖子、マテュー・ガルニエ	7.13 水
	9.17	土	14:00	パーヴォ・ヤルヴィ&NHK交響楽団 指揮：パーヴォ・ヤルヴィ 管弦楽：NHK交響楽団	発 売 中
	9.22	木・祝	14:00	東京芸術劇場 Presents プラスウィーク2016 東京佼成ウインドオーケストラ 指揮：大井剛史 主催：佼成文化協会／東京佼成ウインドオーケストラ	発 売 中
	9.30	金	19:00	東京芸術劇場 Presents プラスウィーク2016 東京吹奏楽団 指揮：小林恵子 主催：一般社団法人東京吹奏楽団	発 売 中
	10.2	日	12:45	東京芸術劇場 Presents プラスウィーク2016 バンドクリニック『中・高生のための楽しい吹奏楽』	事前申込制
	10.19	水	11:00	【芸劇・提携事業】芸劇ランチ・コンサート第4回 フルーツ&ハーブ奏者は美人じゃないとダメ？ ピアノ：清水和音 ナビゲーター：八塩圭子 主催：毎日新聞社／MIYAZAWA & Co.	6.25 土
	10.25	火	19:00	パイプオルガンコンサートVol.21 エドガー・クラップ オルガン・リサイタル オルガン：エドガー・クラップ	発 売 中
	10.29	土	未定	読売日本交響楽団	2016年7月
	11.1	火	19:00	東京芸術劇場 Presents プラスウィーク2016 ブラック・ダイク・バンド 指揮：ニコラス・チャイルズ 主催：ジャパン・アーツ	発 売 中
	11.9	水	11:30	【芸劇・提携事業】前橋汀子 デイライト・コンサートVol.4 ～10人編成の弦楽アンサンブルと～ 主催：KAJIMOTO	7.2 土
	11.17	木	12:15	ランチタイム・パイプオルガンコンサートVol.118 オルガン：山田由希子	7.27 水
	11.20	日	15:00	第7回 音楽大学オーケストラ・フェスティバル2016 上野学園大学（指揮：下野電也）&武蔵野音楽大学（指揮：時任康文）&東京藝術大学（指揮：高関 健）	7.9 土
	11.23	水・祝	15:00	第7回 音楽大学オーケストラ・フェスティバル2016 会場：ミュゼ・川崎シンフォニーホール 桐朋学園大学（指揮：ジョシュア・タン）&昭和音楽大学（指揮：渡邊一正）	7.9 土
	11.24	木	19:00	【芸劇・提携事業】パリ管弦楽団 指揮：ダニエル・ハーディング ヴァイオリン：ジョシュア・ベル 主催：KAJIMOTO	発 売 中
	11.25	金	19:00	海外オーケストラシリーズ パリ管弦楽団 指揮：ダニエル・ハーディング ヴァイオリン：ジョシュア・ベル	発 売 中
	12.3	土	15:00	第7回 音楽大学オーケストラ・フェスティバル2016 会場：ミュゼ・川崎シンフォニーホール 国立音楽大学（指揮：梅田俊明）&東京音楽大学（指揮：秋山和慶）	7.9 土
	12.9	金	19:00	【芸劇・提携事業】ザ・フィルハーモニコス 主催：ジャパン・アーツ	7.2 土
	12.10	土	15:00	第7回 音楽大学オーケストラ・フェスティバル2016 東邦音楽大学（指揮：田中良和）&洗足学園音楽大学（指揮：井上道義）	7.9 土
	12.11	日	15:00	東京芸術劇場コンサートオペラVol.4 モーツァルト／歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」 指揮、ハンマーフリーユゲル：ジョナサン・ノット 舞台監修、ドン・アルフォンソ：サー・トーマス・アレン	発 売 中
	12.19 12.20	月 火	14:00	芸劇ウインド・オーケストラ アンサンブル演奏会 会場：コンサートホール・エントランス（5階） 定員150名	無 料
	12.20	火	19:00	【芸劇・提携事業】パリの木の十字架少年合唱団 主催：ムジカキラ	7.20 水
	12.21	水	11:00	【芸劇・提携事業】芸劇ランチ・コンサート第5回「カルテットをやろう」弦楽器の魅力に迫る ピアノ：清水和音 ナビゲーター：八塩圭子 主催：毎日新聞社／MIYAZAWA & Co.	6.25 土
2017	1.26	木	14:00	パイプオルガン講座 第66回 ― 音のレシピのひみつ ― 第2回 ヴェルサイユのオルガニストたち 講師：川越聡子 副講師：平井靖子、マテュー・ガルニエ	11.9 水
	2.9	木	19:30	ナイトタイム・パイプオルガンコンサートVol.17 オルガン：山上はる	未 定
	2.18 2.19	土 日	14:00	東京芸術劇場シアターオペラvol.10 [全国共同制作] ブッチーニ／歌劇「蝶々夫人」 指揮：ミヒャエル・バルケ 演出：笈田ヨシ 蝶々さん：中嶋彰子、小川里美（ダブルキャスト・出演日未定）	2016年秋
	2.22	水	11:00	【芸劇・提携事業】芸劇ランチ・コンサート第6回 クラリネットは好き？ ピアノ：清水和音 ナビゲーター：八塩圭子 主催：毎日新聞社／MIYAZAWA & Co.	6.25 土
	2.25	土	15:00	芸劇ウインド・オーケストラ 第3回演奏会 指揮：鈴木優人	12.7 水
	3.5	日	15:00	東京芸術劇場 Presents クラシカル・プレイヤーズ東京演奏会 指揮：有田正広 ナチュラルホルン：テウニス・ファン・デル・ズヴァルト	10.22 土
	3.16	木	12:15	ランチタイム・パイプオルガンコンサートVol.119 オルガン：野田美香	11.23 水・祝
	3.21	火	19:00	海外オーケストラシリーズ ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団 指揮：エリアフ・インバル ヴァイオリン：五嶋 龍	2016年秋
	3.25	土	15:00	第6回 音楽大学フェスティバル・オーケストラ 指揮：高関 健 会場：ミュゼ・川崎シンフォニーホール	11.5 土
	3.26	日	15:00	第6回 音楽大学フェスティバル・オーケストラ 指揮：高関 健	11.5 土
	3.29	水	11:30/13:30	芸劇&読響 0才から聴こう!! 春休みコンサート ※2回公演各回入替制	未 定



## カミーユ・ボワテル ヨブの話 — 善き人のいわれなき受難 — L'homme de Hus

## コンテンポラリー・サーカスの異端児、 カミーユ・ボワテル 待望の再来日！

崩れ落ち、裏切られ、また這いのぼる——

神々しいまでの愚直さは、絶望か、希望か。

『リメディア〜いま、ここで』から2年——。

フランス現代サーカスの奇才、カミーユの

鮮烈な幻の処女作

『ヨブの話—善き人のいわれなき受難—』が、初来日！

ドレスにおさげ髪を振りみだし、崩れ落ちるがらくたの山を必死に逃げ惑う人物…フランス現代サーカス界、異端の天才、カミーユ・ボワテルが東京芸術劇場に帰ってくる！しかも幻と呼ばれた作品を引っ提げて。

今年、東京芸術劇場に登場する作品が『ヨブの話』だと知った時、私は耳を疑った。思わずカミーユに「嘘でしょう？」と聞き返してしまっただけだ。おおげさと言うなかれ。『ヨブの話』は、2003年にカミーユが発表したデビュー作であり、当時、あまりの斬新さに関係者の話題をさらい、観るチャンスを得た人は各々の言葉で「何をみたのか」を必死で説明しようとした。が、どう言葉を操っても、この作品を表現できる人などいなかった。

そうこうするうち、ほどなくカミーユの意欲は次の作品の創作へと移り、『ヨブの話』はもう終わった、といって周囲をさらに驚かせる。残されたわずかな写真と映像…作品は伝説になったまま10年以上が過ぎた。

世界中を旅し、記憶とモノを積み上げて創作を続けてきたカミーユが昨年、あらためて処女作を演じると口にしたとき、身近な人間でさえ睡然としたのは言うまでもない。



©Olivier Chambrial

原語タイトル『L'homme de Hus』にある「フス Hus」とは、旧約聖書の「ヨブ記」の主人公の住む国である。いかなる受難や試練に遭おうとも、神への忠誠を守り続けるヨブ…終わりのない不条理と、それに抗することなく、ひたすら受け止める強烈なイメージ。

理由もわからず、大小の災難にあいつづけるキャラクターは、カミーユの作品に絶え間なく登場する。目の前に落ちてくるモノから身をかまし、飛び移った先のテーブルは片足が折れ、すべり台となって次なる災難へと導かれる…という無限ループ。

カミーユの創作の源は、おそらく、幼いころから兄妹でサーカスのようなものを路上で見せていたころからずっと続いているのだろう。大人になってからも、彼は「真剣に」遊んでいるように見える。あるワークショップで、廃校になった学校の椅子を何十脚も集めて、参加者たちに、椅子をつかってムーブメントを創るよう指示していた。が、自分自身も夢中になって沢山の椅子を体からかめているうちに、動けなくなってしまった。あれ？本気でからまっちゃった？気づいた参加者たちがあわてて助け舟を出し、ようやく椅子からの「脱出」に成功。苦しさで照れて真っ赤な顔の彼に、皆が笑いの渦になる。

今回の作品に登場する、おびただし数の架台。舞台上で、あたかも偶然の災難のように崩れ落ちるモノたちをみて、笑いとも叫びともつかぬ声をたてながら、観客は、心で問いかけずにはられない——いったい、どこまでが偶然で、どこまでが予定通りなのだろう？

そしてカミーユ本人はそれには答えずに、にっこりと笑って、ただ、こんなことを言う。

「僕は、笑いの渦が、ふっと消える瞬間が好きなんだ」

文：田中未知子（現代サーカスプロデューサー／瀬戸内サーカスファクトリー代表）

9月30日(金) 19:00 10月1日(土)～2日(日) 15:00 詳細はP14へ  
プレイハウス

構成・演出・振付・出演：カミーユ・ボワテル

チケット発売：8月6日(土)

主催：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）  
東京都／アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都東京都歴史文化財団）

芸劇dance  
勅使川原三郎×山下洋輔  
UP (仮)

## これは 真剣勝負です。

現代ダンスのフロントランナーと

ジャズ・ピアノの巨匠。

世界的に活躍する二人が挑む一期一会の真剣勝負。



### 山下洋輔のような“カッコよさ”を目指して

ダンスのみならず、オペラや映像など、さまざまなジャンルの表現活動に挑み続ける勅使川原三郎。フリージャズ・ピアニストにして、オーケストラや和楽器との共演にも積極的な山下洋輔。一見すると意外な組み合わせのようにも思えるふたりだが、その出会いには必然があった。

もともと勅使川原は、山下の音楽のファン。ちょうどダンスに興味を持ち始めた時期に、山下洋輔トリオの演奏に出会った勅使川原は、『キアズマ』『寿限無』『木喰（もくじき）』といった伝説的名盤を愛聴し、山下から“カッコよさ”を学んでいったという。「音楽が凄いに、エッセイもお書きになる、しかも趣味は落語という……。瞬間、瞬間を決して逃すまいとする山下さんの“カッコいい”生き方に、心から共鳴していました。ですから、僕がダンスを始めた時も、山下さんのように“カッコよく”やるしかないと。現在、僕が創作しているダンス作品では、クラシックを使っていることが多いのですが、山下さんの精神はいつも遠巻きに感じています」。

昨年4月、勅使川原は新宿ピットインで開催されたライブパフォーマンスで山下と初共演を果たした。「ジャズからすれば、まさに勅使川原さんがライブハウスに“乱入”されたわけですが、同じ舞台上に立てば、ダンスをしようが、楽器を弾こうが、叫ぼうが、すべて対等の共演者。つまり、その人がいることによって、僕の音楽が生まれる存在なんです。その後味が、すごく楽しかった」と、山下は勅使川原との初共演を振り返る。



山下洋輔

勅使川原三郎

ただし、ライブハウスという場所の関係上、ダンサーの動きには、どうしても物理的な制約が生じてくる。では、ライブハウスとは異なるプレイハウスのような広い空間を使い、ふたりが再共演を果たしたらどうなるか？「幕が開いて、普通に舞台が始まると思ったら、そうはいかないですよ」と、山下は意味深な笑いを浮かべる。

### ピアノが生き物になり、音楽が視覚を変える

舞台にあるのは、黒い荒馬のようなピアノ。単なる楽器ではなく、手懐けられることを待っている、怪物のような生き物だ。そんなイメージの中で、ダンスと音楽が出会う今回の共演を、勅使川原は「これは（あらかじめ段取りが決められた、予定調和的な）“芝居”じゃない。真剣勝負です」と説明する。「ライブという行為そのものが、そのまま“作品”になる。あるいは“パフォーマンス”になっていい。一日ごとに違う形になっていいだろうし、一回ごとに真剣勝負ができれば、こんなに面白いことはない。ですから、音楽とダンスが僕たちの周りの空気を変え、視覚さえも変えていくような」。

そんな勅使川原の挑戦を受けて立つ山下。「そもそも、ダンサーのような、動いている人間がそこにいること自体、面白い。単純な言い方をすれば、相手が右に動けば右手が弾くし、相手がドシンとくれば肘打ちやっちゃうとか。あるいは、相手が攻めてきたら攻め返すのではなくて、わざと音を外したり、どっかに逃げちゃうとか（笑）。人間同士のやり合って、ありとあらゆることができるんです。ピアノを生き物として扱っていただくことで、僕が今までにない、妙なものに変化していくことができればいいなと」。

現段階では、ショスタコーヴィチのような作曲家の音楽を使ったり、あるいはピアノの鍵盤を叩く寸前で止める“寸止め”の試みなど、さまざまなアイデアが膨らんでいる今回の共演。ピアノが生き物になり、音楽が視覚を変える稀有な瞬間を、我々観客は目撃することになるだろう。

取材・文：前島秀国（サウンド&ヴィジュアル・ライター）  
写真：Art Direction ミルキィ・インペ/Photo 坂口亜耶

10月7日(金) 19:30 8日(土)～9日(日) 16:00 プレイハウス

構成・振付・照明：勅使川原三郎

出演：勅使川原三郎 佐東利穂子／山下洋輔(ピアノ) ほか

チケット発売：8月6日(土)

主催：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）



RooTS Vol.04

## あの大鴉、さえも

作 竹内統一郎

上演台本 ノゾエ征爾

演出 小野寺修二



撮影：山崎泰治

1960～70年代に書かれた優れた日本の戯曲を、現代の気鋭の演出家に託す人気シリーズ「RooTS」。  
第4弾『あの大鴉、さえも』にも、豪華で心躍る面々が集まった。

### 時代とそぐわないように見える部分こそ豊か

1980年に発表された『あの大鴉、さえも』は、当時、秘法零番館という劇団を立ち上げた劇作家、竹内統一郎によって書かれた。竹内はこの作品で第25回岸田國士戯曲賞を受賞。三人の男性が巨大なガラスをある家に運ぼうとしているが、目の前にあるその家の玄関がどうしても見つからないという話だ。しかもガラスは存在しないという、いわば不条理劇。繰り返し上演されてきたこの傑作の演出に白羽の矢が立ったのは、マイムを土台にしたフィジカルシアター系演出家として引っ張りだこの小野寺修二。

小野寺「お話をいただいた後、竹内さんとお会いしました。竹内さんは以前、僕がいた水と油というマイムカンパニーを観てくださっていて「好きにやりなよ」と。ひとつだけ言われたのが“この作品は、お客さんを笑わせないとダメだよ”でした。僕としては、当時の世相を表すせりふが多く、それをどこまで残すか悩んでいて、ご意見を聞きたいと思っていましたが(自作を語るのは)照れがあるのか、軽く流されました(笑)。そこは、上演台本を担当してくれるノゾエ(征爾)さんと相談しながら丁寧に考えていこうと思っています」  
ノゾエ「最初に読んだ時は、やはり時代が変わっていることもあってか、翻訳劇のような距離を感じました。それが、出演者の皆さんに本読みをしてもらったら、そのままでも充分おもしろかったんです。小野寺さんの希望で、ストーリーを要約したものをつくったんですけど、それだと本当に短い話で、つまり、一見無駄かと思う部分、今の時代とそぐわないように見える部分に豊かなものがあつた。演劇って本来そういうのだったなと、この戯曲を通して改めて教わった気持ちです」

まだ演出の入らない本読みの時点で「充分おもしろかった」と言わしめた出演者こそ、今回の上演の大きな注目点だろう。本来は全員男性として書かれた役を、小林聡美、片桐はいり、藤田桃子という女性が演じるのだ。小野寺「元の戯曲が強いので、思い切った変化をつけたいとは思っていまし

たが“それが実現したら夢のようですね”と話していた顔ぶれが本当に揃って、自分でも驚いています。はいりさんは僕らの作品に何度も出てくれていて、今回も力を貸してもらえたらなと。聡美さんはダメもとでお声がけしたらOKをいただいた。藤田は、僕と同じ出自で俳優ではないから迷ったんですが、はいりさんも聡美さんも“違うカテゴリーの人が加わった方が、きっと新しい要素が生まれる”と言ってくださって」

### 男性言葉のせりふ、意外と違和感がなかった

出演のオファーを受けた理由は、3人とも自然体だ。  
片桐「単純に、おじさん役をやるのがおもしろそうだなと思ったんです。どちらかと言うと、自分より聡美さんのおじさん役が見たかったんですけど(笑)」  
小林「でも、男性言葉のせりふも、言ってみるとそれほど違和感がないですよ。ただ、私はこれまであまり動く機会がなかったので、そこは大丈夫かしらと。はいりさんが小野寺さんの舞台に出ているのを、簡単そうに見えて大変なんだろうなと思いながら、眩しく拝見していただけたので」  
片桐「そこは藤田さんがリードしてくれるから大丈夫！」  
藤田「いやあ、私はまだ“人生にはこんな機会があるんだな”と思っているぐらい実感が伴ってなくて、おふたりの胸をお借りする気分です。でも、こういう部外者みたいな人間がぼんと入るのもアリなのかなと考えて、自分なりに何かを担えるといいなと思っています」

取材・文：徳永京子

9月30日(金)～10月20日(木) シアターイースト 詳細はP14へ

作：竹内統一郎  
上演台本：ノゾエ征爾 演出：小野寺修二  
出演：小林聡美／片桐はいり／藤田桃子

チケット発売：7月23日(土)

主催：東京芸術劇場 (公益財団法人東京都歴史文化財団)  
東京都 / アーツカウンシル東京 (公益財団法人東京都歴史文化財団)

SATOMI KOBAYASHI  
HAIRI KATAGIRI  
MOMOKO FUJITA

オックスフォード大学演劇協会(ODS)来日公演「夏の夜の夢」(英語上演／日本語字幕付)

8月12日(金)～14日(日) シアターイースト

詳細はP12へ



### 現代の英国の若者が描く一夜の恋の大騒動

創設130年の歴史と伝統を誇るオックスフォード大学演劇協会(ODS:Oxford University Dramatic Society)はシェイクスピア作品の原語上演が好評なイギリスの由緒正しい学生劇団であり、常に若い才能を育み続けています。映画『Mr.ピーン』のローワン・アトキンソンをはじめ、ヒュー・グラント、フェリシティ・ジョーンズなど、英国演劇・映画界を彩る数々のスターを輩出しています。

シェイクスピア没後400年という記念の今年、祝祭劇の最高傑作といわれる喜劇「夏の夜の夢」に挑みます。躍動感あふれるフレッシュな演技と本場の美しいクイーンズイングリッシュで見るものを夢の世界へと連れ出してくれることでしょう。終演後には、ODSメンバーとの交流会「Meet&Greet」や「トークセッション」も開催。ODSの学生たちとの交流を通してシェイクスピアの本場、英国文化にも触れてみてください。どうぞご期待ください。

ODS  
来日公演 とは？

ODS来日公演では、若い世代の国際交流事業として演劇を通した国際交流が行われています。日本の学生もボランティアとして公演のサポートに関わり、ODSの学生とともに公演を創り上げています。一つの公演制作を通し育まれる日英間のこの文化交流は、ODS来日公演ならではのものとなっています。

作：ウィリアム・シェイクスピア 演出・出演：オックスフォード大学演劇協会(ODS)

主催：東京芸術劇場 (公益財団法人東京都歴史文化財団) / 豊島区

芸劇eyes 劇団子供鉦人 チャンバラ音楽劇「幕末スープレックス」

9月17日(土)～25日(日) シアターイースト

詳細はP14へ



2012年初演より

### 幕末×生演奏で、明るく、賑々しく。

劇団に所属しない俳優が増え、劇団そのもののつながりも様変わりしている昨今、劇団らしい結束力と賑やかさで活動しているのが、劇団子供鉦人だ。2005年に大阪で旗揚げ、2014年から東京に拠点を移して、現在は大阪と東京の2カ所で公演することを基本ベースにしているが、東京への移動も劇団員全員で引っ越し、現在も共同生活を送っている。バラバラに起きているいくつかの出来事がやがてひとつになる、物語の“うねり”と“収束”の快感が売りの作風も、劇団員ひとりひとりの個性、それが揃う呼吸があるからこそ、形になっていると言えるだろう。

『幕末スープレックス』は、そんな子供鉦人の作品の中でも屈指の団体力と賑やかさを誇る。ペリー来航、桜田門外の変、鼠小僧、ええじゃないかなど、幕末を彩った歴史のかげら達が、6名のミュージシャンの生演奏に乗って、ごった煮的スペクタクルへと昇華する内容で、2012年の初演時には、関西で本当におもしろい舞台を選ぶ「ベストアクト」でグランプリを獲得した。作・演出の益山貴司、看板俳優の益山寛司の兄弟は、NODA・MAPのアンサンブル出演経験あり。シアターイーストを充分に活用してくれるだろう。

文：徳永京子

■作・演出 益山貴司

出演：キキ花香／億なつき／益山寛司／影山 徹／ミネユキ／山西竜矢／益山U☆G／古野陽大／うらじぬの／益山貴司 (以上、劇団子供鉦人) ほか 総勢31名

楽団：イガキアキコ(ヴァイオリン)／かんのとしこ(アコーディオン)／ワタンベ(ドラムス)／宮田あずみ(エレキベース)／小林キララ(ギター)／三原智行(トロンボーン)

主催：劇団子供鉦人

提携：東京芸術劇場 (公益財団法人東京都歴史文化財団)

COMING UP NEXT 2016.10-12

演劇・ダンス ラインナップ

#### 「かもめ」

10月29日(土)～11月13日(日) プレイハウス

作：アントン・チェーホフ 翻訳・上演台本：木内宏昌 演出：熊林弘高  
チケット発売：7月30日(土)

#### 「三代目、りちゃあど」

11月26日(土)～12月4日(日) シアターウエスト

作：野田秀樹 演出：オン・ケンセン(シンガポール)  
チケット発売：9月上旬

#### 「ロミオとジュリエット」

12月14日(水)～12月22日(木)予定 プレイハウス

作：W・シェイクスピア 演出：藤田貴大(マームとジブシー)

#### 「オフエリアと影の一座」

11月30日(水)～12月4日(日) プレイハウス

作：ミヒャエル・エンデ 演出：小野寺修二  
チケット発売：9月10日(土)予定

#### 遊機械オフィス「ア・ラ・カルト」(仮)

12月下旬 シアターイースト



7  
JUL

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月・祝	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日		
Concert Hall	A	B	C		D	E		F	G	H	休 館 日			I	J	K	L	M	N	O		P	Q	休 館 日		R			S	T			
Playhouse	A																				B												
Theatre East	A							B								C															D		
Theatre West	A						B								C																D		

## Concert Hall

音楽略号：指揮(Cond)／ソプラノ(S)／メソソプラノ(Ms)／アルト(A)／テノール(T)／バリトン(Br)／バス(Bs)／コーラス(Chor)／ピアノ(Pf)／チェンバロ(Cemb)／オルガン(Org)／ヴァイオリン(Vn)／ヴィオラ(Va)／チェロ(Vc)／

**A** 1日(金) 19:00開演 BOX東京芸術劇場 Presents  
クラシカル・プレイヤーズ東京 演奏会

**出演** 有田正広(Cond)／仲道郁代(フォルテピアノ)／クラシカル・プレイヤーズ東京  
**曲目** モーツァルト／交響曲第32番  
ベートーヴェン／ピアノ協奏曲第4番  
モーツァルト／交響曲第40番  
**料金** S:4,000円／A:3,000円／B:2,000円  
**問合せ** 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

**B** 2日(土) 14:00開演 BOX

## 東京ニューシティ管弦楽団 第106回定期演奏会

**出演** 内藤 彰(Cond)／岡部亮登(Per)／東京ニューシティ管弦楽団  
**曲目** ムソルグスキー(リムスキー＝コルサコフ編)／交響詩『禿山の一夜』  
ショリヴェ／打楽器と管弦楽のための協奏曲  
チャイコフスキー／交響曲第6番『悲愴』(Muzyka版)  
**料金** S:6,500円／A:5,000円／B:3,500円／C:2,500円  
**問合せ** 東京ニューシティ管弦楽団事務局 03-5933-3266

**C** 3日(日) 13:15開演 BOX町田フィルハーモニー合唱団  
第15回演奏会・創立20周年記念

**出演** 荒谷俊治・松下京介(Cond)／松原有奈(S)／  
久住庄一郎(T)／末吉利行(Br)  
町田フィルハーモニー交響楽団／町田フィルハーモニー合唱団  
**曲目** ハイドン／オラトリオ『四季』全曲、オラトリオ『天地創造』より  
"Die Himmel erzählen die Ehre Gottes"  
**料金** S:3,000円／A:2,500円／B:1,500円／C:1,000円  
**問合せ** 北原 090-6521-6273

**D** 5日(火) 19:00開演

## 日本テレビ「読響シンフォニックライブ」公開録画

**出演** 本名徹次(Cond)／外園祥一郎(Euph)／溝端淳平(語り)／  
読売日本交響楽団  
**曲目** ケンツピッツ／ユーフォニアム協奏曲『皇帝』  
ラヴェル／ボレロ ほか **料金** 観覧申込みは締切ました  
**問合せ** 日本テレビ視聴者センター 03-6215-4444

## Playhouse

**A** ~4日(月) BOXDANCE LEGEND vol.3  
「FLAMENCO CAFÉ DEL GATO」

**構成・演出・振付** ホセ・バリオス  
**出演** 湖月わたる／水 夏希／緒月遠麻／大貫勇輔 ほか **料金**【全席指定】8,800円 **問合せ** 梅田芸術劇場 0570-077-039

7月	1 金	2 土	3 日	4 月
12:00		●	●	●
14:00			●	
16:30		●	●	
18:30	●			

## Theatre East

**A** 1日(金)~3日(日) BOX芸劇dance  
Co.山田うん ダンスライヴ with 芳垣安洋アンサンブル

7/1(金) **音楽** 芳垣安洋 **ダンス** 飯森沙百合／伊藤知奈美／川合ロン／木原浩太／山田うん  
7/2(土) **音楽** 芳垣安洋／高良久美子 **ダンス** 荒 悠平／飯森沙百合／川合ロン／木原浩太／小山まさし／西山友貴  
7/3(日) **音楽** 芳垣安洋／高良久美子／助川太郎／太田恵貴  
**ダンス** 川合ロン／木原浩太／城 俊彦／西山友貴

**料金** 【全席自由】前売一般:3,500円／U25割引:3,200円 当日一般:3,800円／当日U25:3,500円／3日通し券:9,000円(芸劇のみ販売)  
**問合せ** Co.山田うん 080-9640-5361

## Theatre West

**A** ~3日(日) BOXロック第十一本公演  
「荒川、神キラーチェーン」

**作・演出** 山田佳奈  
**出演** 小野寺ずる／日高ボブ美(ロックク) ほか  
**料金** 【全席指定】前売:3,900円／当日:4,300円  
U24歳割引:3,300円／高校生以下:2,000円／初日割引:3,500円  
**問合せ** ロックク 080-5526-7505

7月	1 金	2 土	3 日
14:00	●	●	●
19:00	●	●	●

**B** 6日(水)~10日(日)はっぴいはっぴいどりーみんぐ vol.11  
「大正浪漫探偵譚ー君影草の設計書ー」

**作・演出** 鈴木栄美  
**出演** 北村 諒／廣瀬大介／多田直人(キャラメルボックス)／  
松本慎也(Stadio Life)／岩崎 大(Stadio Life)／廣川三恵(ナイロン100℃)／河原侑希 ほか  
**料金** 【全席指定】プレミアムS席(1~3列) 公演パンフレット付:7,900円／一般席:5,900円  
**問合せ** はっぴいはっぴいどりーみんぐ 080-6510-1464

7月	6 水	7 木	8 金	9 土	10 日
12:00		●	●	●	●
14:00	●	●	●	●	●
16:00		●	●	●	●
19:00	●	●	●	●	●

**B** 8日(金)~10日(日) BOX芸劇dance  
東芋×森下真樹 映像芝居「錆からでた実」

**構成・演出・美術** 東芋 **振付** 森下真樹 **ダンス** 鈴木美奈子  
**音楽** 栗津裕介／田中啓介  
**料金** 【全席自由】一般:前売3,500円／当日4,000円  
アンダー25:3,000円  
(要証明書・前売のみ)

**問合せ** ハイウッド 03-3320-7217

7月	8 金	9 土	10 日
14:30		●	●
19:30	●	●	★

★=アフタートークあり

BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケットお取り扱いのある公演(取扱いのない券種もございます)**L** 17日(日) 18:30開演

## Game Symphony Japan SEGA Special 2016

**出演** 志村健一(Cond)／東京室内管弦楽団／東京混声合唱団  
**曲目** 第1部 歴代の「ソニックシリーズ」より  
第2部 「ぶよぶよ」シリーズより  
第3部 「NIGHTS into dreams…」より ほか  
**料金** S:8,500円／A:7,500円／B:6,500円  
**問合せ** サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

**M** 18日(月・祝) 13:30開演 BOX

## 第9回東京六大学OB合唱連盟演奏会

**出演** 須田和宏(Cond)、慶応義塾ワグネル・ソサィエティーOB合唱団／  
川元啓司(Cond)、早稲田大学グリークラブOB会・稲門グリークラブ／  
三澤洋史(Cond)、東京大学音楽部OB合唱団アカデミカコール／  
前川和之(Cond)、立教大学グリークラブOB男声合唱団／  
外山浩爾(Cond)、明治大学グリークラブOB会合唱団駿河台倶楽部／  
酒井惟敬(Cond)、法政大学アリオンコールOB会・男声合唱団オールアリオン  
**曲目** 各団指揮者の指揮で六大学のエールを合唱 ほか  
**料金** S:3,000円／A:2,000円  
**問合せ** 根本 ob6ren.info@gmail.com

**N** 19日(火) 12:15開演 BOX東京芸術劇場ランチタイム・  
パイプオルガンコンサートVol.117

**出演** ジョン・ウォルトハウゼン(Org)  
**曲目** プクステフェー／賛歌「あなたを神と、われらは讃えん」(テ・デウム)  
BuxWV218 ほか

**料金** 【全席自由】500円  
**問合せ** 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

**B** 10日(日)~8月7日(日) BOX

## ミュージカル マイ・フェア・レディ

**脚本・歌詞** アラン・ジェイ・ラーナー **音楽** フレデリック・ロウ **翻訳・訳詞・演出** G2  
**出演** 霧矢大夢／真飛 聖(Wキャスト)／  
寺脇康文／田山涼成／松尾貴史／寿 ひずる／水田航生／麻生かほ里／高橋恵子 ほか **料金** 【全席指定】S:12,500円／A:8,000円 **問合せ** 帝国劇場 03-3213-7221

7・8月	10日	11月	12火	13水	14木	15金	16土	17日	18月祝	19火	20水	21木	22金	23土	24日	25月	26火	27水	28木	29金	30土	31日	1月	2火	3水	4木	5金	6土	7日	
12:30							K		K					M							K								M	
13:00			K		休演	M	K		M	M★	休演	K	K★		K	休演	M	M★	K	M★		貸切	K	M	休演	K	K★		M	
17:30	K						M		M					K		休演					M						K			
18:15		M	M		K						M						K		M				K		M					

K=霧矢大夢、M=真飛 聖

★=アフタートークあり

**C** 15日(金)~18日(月・祝) BOX芸劇dance  
カンパニーデラシネラ「ロミオとジュリエット」

**原作** ウィリアム・シェイクスピア **翻訳** 松岡和子 **演出** 小野寺修二  
**美術** 石黒 猛  
**出演** 斉藤 悠／崎山莉奈／王下貴司／大庭裕介／藤田桃子／小野寺修二  
**料金** 【全席自由】一般前売:3,500円／当日:4,000円  
高校生:1,000円／中学生以下:無料(3歳以上)  
**問合せ** カンパニーデラシネラ 080-4434-1814

7月	15 金	16 土	17 日	18 月祝
14:00		★	★	●
18:00		●	●	●
19:30	●	●	●	●

★=アフタートークあり

**D** 27日(水)~31日(日) BOX劇団PATHOS PACK vol.17  
「デザートパーティ」

**脚本** 宇梶剛士  
**演出** シライ ケイタ(温泉ドラゴン)  
**出演** 宇梶剛士／金井良信／三田村賢二／MINAKO(米米CLUB)／  
平野貴大 ほか  
**料金** 【全席指定】前売:4,300円／当日:4,800円  
**問合せ** 劇団PATHOS PACK 090-4984-9618

7月	27 水	28 木	29 金	30 土	31 日
12:00					●
14:00		●		●	●
16:00				●	●
19:00	●	●	●	●	●

**C** 13日(水)~18日(月・祝) BOX

## 「八月の森へ行こう」

**作・演出** 渡辺浩一／蛸原味茶煎  
**出演** 渡辺浩一／中村容子／里中龍児／にわかみほ  
[Bバージョン] 首藤健祐／柳橋幸代／穴戸英明／吉久直志 ほか  
[Cバージョン] 伊東由美子／内堀克利／鈴木達也／日比博朋／田淵将平 ほか  
**料金** 【全席指定】前売:3,800円／当日:4,000円／高校生以下:1,000円  
セット券(前売のみ):7,000円 **問合せ** J-Stage Navi 03-5912-0840

7月	13 水	14 木	15 金	16 土	17 日	18 月祝
12:30						C
13:00					B	
14:30		C	B	C		
17:00						B
18:00					C	
19:30	B	B	C	B		

B=BEETLE(カブトムシ)

C=CICADA(セミ)

**D** 29日(金)~31日(日) BOX時間堂シリーズ発掘02  
「ゾーヤ・ペーリツのアパート」

**作** ミハイル・ブルガーコフ **演出** 黒澤世和 **翻訳** 秋月準也  
**出演** 菅野貴夫／鈴木浩司／直江里美／ヒザイミズキ／阿波屋鮎美／  
松井美宣／尾崎冴子／國松 卓(以上、時間堂) ほか  
**料金** 【全席指定】前売:4,500円／当日:5,000円／ペアチケット:8,000円／  
プレビュー(7/29金13:30の回) 前売・当日:3,500円／高校生以下:1,000円  
**問合せ** 時間堂 070-6659-3841

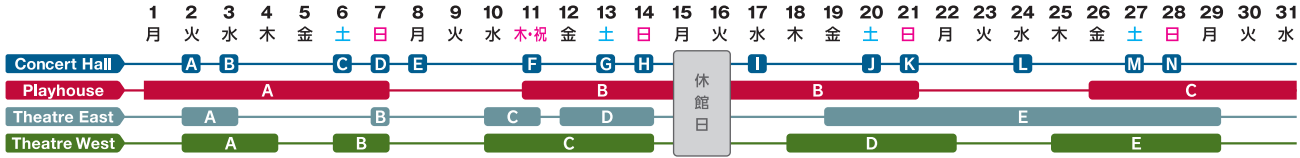
7月	29 金	30 土	31 日
12:00			☆
13:30	★	☆	
17:00		●	●
18:30	●	●	●

★=レビュー公演

☆=アフターイベント



8  
AUG



Concert Hall

音楽略号：指揮(Cond)／ソプラノ(S)／メソソプラノ(Ms)／アルト(A)／テノール(T)／バリトン(Br)／バス(Bs)／コーラス(Chor)／ピアノ(Pf)／チェンバロ(Cemb)／オルガン(Org)／ヴァイオリン(Vn)／ヴィオラ(Va)／チェロ(Vc)／

**A** 2日(火) 11:00開演・14:00開演 BOX

第42回日本フィル夏休みコンサート2016

**出演** 梅田俊明(Cond)／江原陽子(お話とうた)／スターダンサーズ・バレエ団／日本フィルハーモニー交響楽団  
**曲目** 第1部 ユリアムズ／映画『スター・ウォーズ』より『メインタイトル』ほか  
第2部 プロコフィエフ／バレエ『シンデレラ』  
第3部 オーケストラの演奏にのってみんなであたおう  
**料金** S:子供3,200円／S:大人5,200円  
A:子供2,500円／A:大人4,200円  
B:子供1,800円／B:大人3,200円  
※子供:4歳～高校生 ※4歳未満入場不可  
**問合せ** 日本フィル・サービスセンター 03-5378-5911

**B** 3日(水) 19:30開演 BOX

東京芸術劇場ナイトタイム・パイプオルガンコンサートVol.15

**出演** 小林英之(Org)／山本英助(Tp)  
**曲目** H.バーセル／入場と行進\*  
J.N.ハンフ／コラール「ああ神よ、天よりみそなわし」  
J.S.バッハ／トリオ・ソナタ 第4番 ホ短調 BWV528  
コラール「ああ神よ、天よりみそなわし」BWV741  
A.ホヴァネス／聖グレゴリーの祈り\*  
H.ボルネフェルト ～ E.ベッピング ～ H.ディストラー／コラール「静かな喜び」による3つの作品  
大関民弘／故郷II\*  
H.E.コッホ／コラール前奏曲「装いせよ、愛する魂よ」  
M.レーガー／ロマンツェ\*  
序奏とパッサカリア 二短調 作品番号なし  
\*オルガンとトランペットのアンサンブル  
**料金** 【全席指定】1,000円  
**問合せ** 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

Playhouse

**A** ～7日(日) BOX

ミュージカル マイ・フェア・レディ

**脚本・歌詞** アラン・ジェイ・ラーナー  
**音楽** フレデリック・ロウ **翻訳・歌詞・演出** G 2  
**出演** 霧矢大夢／真飛 聖(Wキャスト)／寺脇康文／田山涼成／松尾貴史／寿 ひずる／水田航生／麻生かほ里／高橋恵子 ほか  
**料金** 【全席指定】S:12,500円／A:8,000円  
**問合せ** 帝国劇場 03-3213-7221

8月	1月	2火	3水	4木	5金	6土	7日
12:30						M	
13:00	K	M	休演	K	K★		M
17:30						K	
18:15		K		M			

K=霧矢大夢、M=真飛 聖  
★=アフタートークあり

**B** 11日(木・祝)～21日(日) BOX

市村正親ひとり芝居「市村座」

**作・演出** 高平哲郎  
**出演** 市村正親  
**料金** 【全席指定】S:8,500円／サイドシート:6,500円／U:25:5,000円  
**問合せ** ホリプロチケットセンター 03-3490-4949

8月	11木	12金	13土	14日	15月	16火	17水	18木	19金	20土	21日
13:00		●	●	●						●	●
14:00	●	●					●	●	●		
17:30			●							●	
18:30								●			

BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケットお取り扱いのある公演(取扱いのない券種もございます)

東京芸術劇場ボックス **0570-010-296** 休館日を除く 10:00～19:00

※プログラム、出演者等に変更が出る場合がございます。最新情報は、各お問合せ先までご確認ください。

休館日 | 15日(月)・16日(火)  
東京芸術劇場ホームページ **www.geigeki.jp**

※原則未就学児のご入場はお断りしています。

コントラバス(Cb)／ハープ(Hp)／フルート(F)／クラリネット(Cl)／オーボエ(Ob)／ファゴット(Fg)／サクソフォーン(Sax)／ホルン(Hr)／トランペット(Tp)／トロンボーン(Tb)／チューバ(Tub)／ユーフォニアム(Euph)／ティンパニ(Timp)／パーカッション(Per)

**I** 17日(水) 19:00開演 BOX

N響JAZZ at 芸劇

**出演** ジョン・アケセルロッド(Cond)／山中千尋(Pf)／NHK交響楽団  
**曲目** ～オール・ガーシュウィン・プログラム～  
ガーシュウィン／キューバ序曲、交響的絵画『ボーギーとベス』  
「アイ・ガット・リズム」変奏曲  
ラフソディー・イン・ブルー  
**料金** SS:7,000円／S:6,200円／A:5,400円  
B:4,600円／C:3,800円／D:3,000円  
9月17日(土)パヴォ・ヤルヴィ&NHK交響楽団との2公演セット券有(前売のみ)  
**問合せ** 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

**J** 20日(土) 13:30開演 BOX

麻布学園OBオーケストラ特別演奏会2016

**出演** 鈴木優人(Cond)／福川伸陽(Hr)／山下洋輔(Pf)／麻布学園OBオーケストラ  
**曲目** 藤倉 大／ホルン協奏曲第2番より(世界初演)  
ガーシュウィン／ラフソディー・イン・ブルー  
ラフマニノフ／交響曲第2番  
**料金** S:2,500円／A:2,000円  
**問合せ** 麻布学園OBオーケストラ 080-1256-2356

**K** 21日(日) 14:00開演 BOX

日本フィル 第218回サンデーコンサート

**出演** 寺岡清高(Cond)／日本フィルハーモニー交響楽団  
**曲目** スターウォーズ・セレクション  
インディー・ジョーンズ・セレクション  
サンダーバード放送50年記念  
～オリジナル・スコアによる音楽集 ほか  
**料金** S:子供3,000円／S:大人6,000円  
A:子供2,500円／A:大人5,000円  
B:子供2,000円／B:大人4,000円  
※子供:4歳～高校生 ※4歳未満入場不可  
**問合せ** 日本フィル・サービスセンター 03-5378-5911

**L** 24日(水) 11:00開演 BOX

芸劇 ブランチ・コンサート  
～清水和音と八塩圭子の名曲ラウンジ～  
第3回「清水和音の英雄ボロネーズ」ピアノの魅力が満載!

**出演** 清水和音、鈴木弘尚(Pf)／水野優也(Vc)／八塩圭子(ナビゲーター)  
**曲目** ベートーヴェン／ピアノ・ソナタ「月光」  
ショパン／英雄ボロネーズ、序奏と華麗なるボロネーズ  
ラヴェル／マ・メーテル・ロワ ほか  
**料金** 【全席指定】2,200円  
**問合せ** サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

**M** 27日(土) 14:00開演 BOX

読売日本交響楽団  
第190回土曜マチネーシリーズ

**出演** セバスティアン・ヴァイグレ(Cond)／ダニエル・オッテンザマー(CI)／読売日本交響楽団  
**曲目** ウェーバー／歌劇『魔弾の射手』序曲  
モーツァルト／クラリネット協奏曲  
ブラームス／交響曲第1番  
**料金** S:7,500円／A:5,500円／B:4,500円／C:3,500円  
**問合せ** 読響チケットセンター 0570-00-4390

**N** 28日(日) 14:00開演 BOX

読売日本交響楽団  
第190回日曜マチネーシリーズ

**出演** セバスティアン・ヴァイグレ(Cond)／ダニエル・オッテンザマー(CI)／読売日本交響楽団  
**曲目** ウェーバー／歌劇『魔弾の射手』序曲  
モーツァルト／クラリネット協奏曲  
ブラームス／交響曲第1番  
**料金** S:7,500円／A:5,500円／B:4,500円／C:3,500円  
**問合せ** 読響チケットセンター 0570-00-4390

Theatre East

**A** 2日(火)～3日(水) Closed・関係者のみ

地域創造フェスティバル2016

**問合せ** 一般財団法人地域創造 03-5573-4124

**B** 7日(日) 13:00開演

MIYABI METHOD  
コンサート2016

**料金** 【全席自由】前売当日:2,000円  
**問合せ** ミヤビ・メソード 03-6914-3392

**C** 10日(水)～11日(木・祝) BOX

OrganWorks主催公演  
「Reason to Believe」

**振付・出演** 平原慎太郎 ほか  
**料金** 【全席自由】前売:4,000円／当日:4,500円／学生前売:2,000円  
**問合せ** G-Screw Dance Labo 03-3392-3698

8月	10水	11木
13:00		●
17:00		★
20:00	●	

★=アフタートークあり

Theatre West

**A** 2日(火)～4日(木) Closed・関係者のみ

地域創造フェスティバル2016

**問合せ** 一般財団法人地域創造 03-5573-4124

**B** 6日(土)～7日(日)

ヒカリの王国

**脚本・演出** 久米伸明 **出演** 小学生1年生～6年生  
**料金** 【全席自由】前売当日2,000円  
**問合せ** Tokyoこども演劇フェスティバル 050-3636-1538

**C** 10日(水)～14日(日)

劇団民話芸術座 創立40周年記念公演  
手塚治虫原作「カノン」

**原作** 手塚治虫  
**脚本・演出** 小村哲生  
**出演** 柴田秀勝／河西健司／松山鷹志／井上和彦(声の出演)／道脇広行／松野朋子  
**料金** 【全席指定】前売:4,000円／当日:4,500円  
高校生以下前売:2,000円／当日:2,500円  
**問合せ** コムラ企画 03-3981-8011

8月	10水	11木	12金	13土	14日
13:00		●		●	●
17:00				●	
18:00	●			●	
19:00	●	●			

**D** 18日(木)～22日(月) BOX

「KYOKAI～心の38度線～」

**作** 山谷典子  
**演出** 杉本孝司  
**料金** 【全席指定】前売:5,000円  
大学・専門学生:3,500円  
高校生以下:3,000円  
障がい者割引:3,500円  
当日各500円プラス  
**問合せ** 東京芸術座 03-3997-4341

8月	18木	19金	20土	21日	22月
14:00		★	●	●	●
19:00	●	●	●	●	

★交流会あり

**E** 25日(木)～29日(月) BOX

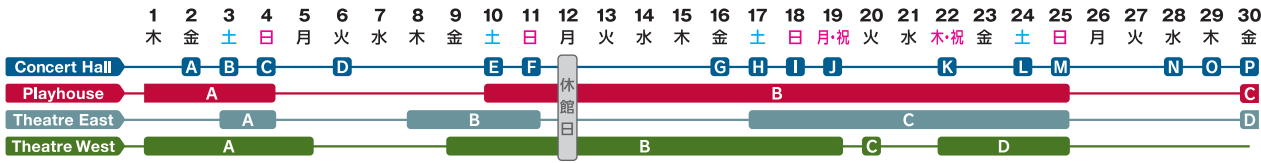
Pカンパニー第18回公演『虎よ、虎よ』

**作・演出** 福田善之  
**出演** 平田広明／渡辺聡／早野ゆかり／会田一生／染谷麻衣 ほか  
**料金** 【全席指定】一般:6,000円／学生:4,000円  
**問合せ** Pカンパニー 03-6808-5306

8月	25木	26金	27土	28日	29月
14:00		●	●	●	●
19:00	●	●	●	●	



9 SEP



Concert Hall 音楽略号:指揮(Cond)ノソプラノ(S)メソソプラノ(Ms)ノアルト(A)ノテノール(T)ノバリトン(Br)ノバス(Bs)ノコーラス(Chor)ノピアノ(Pf)ノチェンバロ(Cemb)ノオルガン(Org)ノヴァイオリン(Vn)ノヴィオラ(Va)ノチェロ(Vc)ノコントラバス(Cb)ノハープ(Hp)ノフルート(F)ノクラリネット(Cl)ノオーボエ(Ob)ノファゴット(Fg)ノサクソフォーン(Sax)ノホルン(Hr)ノトランペット(Tp)ノトロンボーン(Tb)ノチューバ(Tub)ノユーフォニアム(Euph)ノティンパニ(Timp)

**A** 2日(金) 19:00開演 BOX

辻井伸行 音楽と絵画コンサート

出演 辻井伸行 (Pf)  
曲目 第1部 人気の自作×美しいフォトグラフ  
美の巨人たち オープニング・テーマ  
川のささやき  
ロックフェラーの天使の羽  
セーヌ川のロンド  
風の家  
ヴェネツィアの風に吹かれて  
コルトナの朝  
ジェニーへのオマージュ  
美の巨人たち エンディング・テーマ  
第2部 クラシックの名曲×著名絵画  
ドビュッシーノ2つのアラバスク、夢、月の光  
ラヴェルノ亡き王女のためのパヴァーヌ、水の戯れ  
ショパンノバラード第1番、英雄ポロネーズ  
料金 S:9,000円ノA:8,000円  
問合 チケットスペース 03-3234-9999

**B** 3日(土) 18:00開演 BOX

第30回ファミリークラシックコンサート  
～ドラゴンクエストの世界～

出演 すぎやまこういち (Cond)ノ東京交響楽団  
曲目 交響組曲「ドラゴンクエストX」目覚めし五つの種族セレクション  
交響組曲「ドラゴンクエストX」眠れる勇者と導きの盟友  
交響組曲「ドラゴンクエストX」いにしえの竜の伝承  
料金 S:5,000円ノA:4,000円ノB:3,000円  
問合 エラート音楽事務所 075-751-0617

**C** 4日(日) 14:00開演

陸上自衛隊東部方面音楽隊  
第66回定期演奏会

出演 隊長3等陸佐 加藤良幸 (Cond)ノ陸上自衛隊東部方面音楽隊  
料金 無料(要はがきによる事前申込)  
問合 東部方面音楽隊演奏会係 048-460-1711

**D** 6日(火) Closed・関係者のみ

平成28年度千代田区音楽鑑賞教室

**E** 10日(土) 14:00開演 BOX

東京都交響楽団  
第813回定期演奏会Cシリーズ

出演 エリアフ・インバル (Cond)ノターニャ・デツラフ (Vc)ノ東京交響楽団  
曲目 エルガーノチェロ協奏曲  
シューベルトノ交響曲第8番「ザ・グレート」  
料金 S:7,500円ノA:6,500円ノB:5,500円ノC:4,500円ノEx:3,500円  
問合 都響ガイド 03-3822-0727

**F** 11日(日) 15:00開演 BOX

日本フィル 第219回サンデーコンサート

出演 大井剛史 (Cond)ノ半田美和子 (S)ノ手嶋眞佐子 (Ms)ノ望月哲也 (T)ノ甲斐栄次郎 (Br)ノ日本フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー協会合唱団  
曲目 メンデルスゾーンノオラトリオ「エリヤ」  
料金 S:7,200円ノA:6,000円ノB:5,200円ノC:4,200円ノGs:4,500円ノYs:1,500円  
問合 日本フィル・サービスセンター 03-5378-5911

**G** 16日(金) 19:00開演 BOX

武蔵野音楽大学管弦楽団演奏会

出演 北原幸男 (Cond)ノ学生オーディション合格者ノ武蔵野音楽大学管弦楽団  
曲目 サン＝サーンスノ『サムソンとデリラ』より「パッカナール」リストノピアノ協奏曲第1番  
ブラームスノ交響曲第4番  
料金 【全席指定】1,500円  
問合 武蔵野音楽大学演奏部 04-2932-3108

**H** 17日(土) 14:00開演 BOX

バーヴォ・ヤルヴィ&NHK交響楽団

出演 バーヴォ・ヤルヴィ (Cond)ノNHK交響楽団  
曲目 ムソルグスキーノ交響詩『はげ山の一夜』(1867/原典版)  
武満 徹ノア・ウェイ・ア・ローンII  
ハウ・スロー・ザ・ウィンド  
ムソルグスキー (R.コルサコフ編曲)ノ歌劇『ホヴァンシチナ』より第4幕第2場への間奏曲「ゴリツィン公の流刑」  
ムソルグスキー (ラヴェル編曲)ノ組曲『展覧会の絵』  
料金 SS:8,000円ノS:7,000円ノA:6,000円ノB:5,000円ノC:4,000円ノD:3,000円  
8月17日(水)N響JAZZ at 芸劇との2公演セット券有(前売のみ)  
問合 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

Playhouse

**A** ~4日(日) BOX

舞台「娼年」 ※R-15指定作品

原作 石田衣良  
脚本・演出 三浦大輔  
出演 松坂桃李ノ高岡早紀ノ佐津川愛美ノ村岡希美ノ安藤 聖ノ良田麻美ノ須藤理彩ノ猪塚健太ノ米村亮太郎ノ古澤裕介 ほか  
料金 【全席指定】S:9,800円ノ学生:6,500円  
問合 ホリプロチケットセンター 03-3490-4949



**B** 10日(土)~25日(日) BOX

美輪明宏ノロマンティック音楽会2016

構成・演出・出演 美輪明宏  
演奏 セルジュ染井アンサンブル  
料金 【全席指定】S:9,000円ノA:7,000円  
問合 パルコ 03-3477-5858



BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケットお取り扱いのある公演(取扱いのない券種もございます)

東京芸術劇場  
ボックスオフィス 0570-010-296

※プログラム、出演者等に変更が出る場合がございます。最新情報は、各お問合せ先までご確認ください。

| 休館日 | 12日(月)

東京芸術劇場ホームページ [www.geigeki.jp](http://www.geigeki.jp)

※原則未就学児のご入場はお断りしています。

**L** 24日(土) 14:00開演 BOX

読売日本交響楽団  
第191回土曜マチネーシリーズ

出演 ゲンナジー・ロジェストヴェンスキー (Cond)ノ読売日本交響楽団  
曲目 チャイコフスキーノ『白鳥の湖』  
『眠りの森の美女』  
『くるみ割り人形』から  
料金 S:7,500円ノA:5,500円ノB:4,500円ノC:3,500円  
問合 読響チケットセンター 0570-00-4390

**M** 25日(日) 14:00開演 BOX

読売日本交響楽団  
第191回日曜マチネーシリーズ

出演 ゲンナジー・ロジェストヴェンスキー (Cond)ノ読売日本交響楽団  
曲目 チャイコフスキーノ『白鳥の湖』  
『眠りの森の美女』  
『くるみ割り人形』から  
料金 S:7,500円ノA:5,500円ノB:4,500円ノC:3,500円  
問合 読響チケットセンター 0570-00-4390

**N** 28日(水) Closed・関係者のみ

創価学会富士交響楽団  
新時代第7回定期演奏会

**O** 29日(木) Closed・関係者のみ

イリソ電子工業50周年記念コンサート  
「CONNECTORS」

**P** 30日(金) 18:30プレトークノ19:00開演 BOX

東京芸術劇場 Presents プラスウィーク 2016  
東京吹奏楽団 第63回定期演奏会  
一小林恵子東京吹奏楽団正指揮者就任披露一

出演 小林恵子 (Cond)ノ栗生田直樹 (Cl)ノ東京吹奏楽団  
曲目 バーンズノ交響的序曲  
ジャンニーニノバンドのためのファンタジア  
ティケリノクラリネット協奏曲  
スミスノファンファーレ、バラード&ジュビリー  
ホルジンガーノスクーティン オン ハードロック  
〈3つの即興的ジャズ風舞曲〉  
ガーシュウィン(鈴木英史編曲)ノララバイ  
ベネットノ古いアメリカ舞曲による組曲  
料金 S:5,000円ノA:4,000円ノB:2,000円  
B(高校生割引):1,000円  
※高校生割引は東京芸術劇場ボックスオフィス限定販売  
問合 東京吹奏楽団 03-5937-5205

**C** 30日(金)~10月2日(日) BOX

カミュー・ボワテル  
「ヨブの話ー善き人のいわれなき受難ー」

構成・演出・振付・出演 カミュー・ボワテル  
料金 【全席指定】前売4,000円ノ当日4,500円  
65歳以上:3,500円ノ25歳以下:3,000円  
高校生以下割引:1,000円  
※各種割引チケットは東京芸術劇場ボックスオフィスにて前売のみ取扱い(枚数限定・要証明書)  
問合 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296



Theatre East

**A** 3日(土)~4日(日) BOX

歌劇「海の青よりあおいもの」

指揮・脚本・作曲・演出 神田慶一  
管弦楽 Orchestre du poisson bleu  
出演 岡戸 淳ノ蔵野蘭子 ほか  
料金 【全席指定】前売当日:7,000円  
問合 国立オペラ・カンパニー 青いサカナ団 03-5340-4277



**B** 8日(木)~11日(日) BOX

演劇系大学共同制作公演VOL.4「昔々日本」

作・演出 山本卓卓(範宙遊泳)  
出演 オーディションで選ばれた演劇系5大学の学生と新進演劇人  
料金 【全席自由】一般:2,500円ノ大学生:1,500円ノ高校生:500円  
問合 「昔々日本」制作部 070-1470-7460



★=アフタートークあり

**C** 17日(土)~25日(日) BOX

芸劇eyes 劇団子供超人 チャンバラ音楽劇  
「幕末スープレックス」

作・演出 益山貴司  
出演 キキ花香ノ億なつきノ益山寛司ノ影山 徹ノミネユキノ山西竜矢ノ益山 ム☆Gノ古野陽大ノうらじめのノ益山貴司 (以上、劇団子供超人) ほか 総勢31名  
楽団 イガキアキコ(ヴァイオリン)ノかんのとしこ(アコーディオン)ノワタンベ(ドラムス)ノ宮田あずみ(エレキベース)ノ中林キララ(ギター)ノ三原智行(トロンボーン)  
料金 【全席自由】前売:3,800円ノ当日:4,000円ノ学生:2,000円ノ高校生以下:1,000円  
【あいのり割引】3人連れ以上と一緒に予約すると、お一人様300円引き。  
問合 劇団子供超人 080-3294-2450



**D** 30日(金)~10月20日(木) BOX

RooTS Vol.04  
「あの大鴉、さえも」

作 竹内統一郎  
上演台本 ノゾ征剛  
演出 小野寺修二  
出演 小林聡美ノ片桐はいりノ藤田桃子  
料金 前売:6,000円ノ当日:6,500円  
65歳以上:5,500円ノ25歳以下:3,000円ノ高校生割引:1,000円  
※各種割引チケットは東京芸術劇場ボックスオフィスにて前売のみ取扱い(枚数限定・要証明書)  
問合 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296



Theatre West

**A** 1日(木)~5日(月) BOX

グループる・はるvol.23  
「八百屋のお告げ」

脚本 鈴木 聡  
演出 木野 花  
出演 松金よね子ノ岡本 麗ノ田岡美也子ノ大谷亮介ノ酒向 芳ノ本間 剛  
料金 【全席自由】前売:4,500円ノ当日:4,700円ノ25歳以下:3,000円  
問合 プリエール 03-5942-9025



**B** 9日(金)~19日(月・祝) BOX

地人会新社 第5回公演  
「テレーズとローラン」

脚本・演出 谷 賢一  
出演 木場勝己ノ奥村佳恵ノ銀粉蝶ノ浜田 学  
料金 【全席指定】一般:6,500円ノ25歳以下:3,000円  
問合 地人会新社 03-3354-8361(平日11:00~18:00)



**C** 20日(火) 19:00開演

神田松之丞 独演会

出演 神田松之丞 ほか  
料金 【全席指定】前売当日:2,700円(予定)  
問合 夢空間 03-5785-0380

**D** 22日(木・祝)~25日(日)

D.K HOLLYWOOD 最新作

脚本・演出 越川大介  
料金 【全席指定】前売:4,000円ノ当日:4,500円  
問合 D. K HOLLYWOOD 03-5371-9005





7・8・9  
JUL AUG SEP

東京芸術劇場ホームページ [www.geigeki.jp](http://www.geigeki.jp)

Gallery 1 (5F)			
7	1日(金)～4日(月) 第5回 よみうり美術展 問合せ よみうり美術展事務局 03-3642-4301	6日(水)～10日(日) 2016年国際書画選抜展 問合せ 国際書画連盟 03-6459-0612	13日(水)～17日(日) Gallery 1・2 同時開催 第5回 墨輪展 問合せ 松尾 048-686-4612
	19日(火)～24日(日) 第39回 東京都高等学校文化祭 写真部門A・B地区大会 問合せ 都立久留米西高等学校 宮原 042-474-2661	27日(水)～31日(日) 墨翔展2016・矢部澄翔書展 ～10th Anniversary～ 問合せ 眞墨書道会事務局 070-5570-0472	
8	1日(月)～7日(日) 『黒い世界と白き眼光』 ヒロシマ・アピール2016 問合せ 大前 090-3178-3355	9日(火)～13日(土) Gallery 1・2 同時開催 Asian Art Fellowship 2016 ～Tokyo to Singapore～ 問合せ Asian Art Fellowship実行委員会 藤井 06-6311-1400	19日(金)～21日(日) Gallery 1・2 同時開催 第61回 群鷺書道展 問合せ 菅沼 090-7008-5580 042-622-5666
	22日(月)～28日(日) 第31回 日本の海洋画展 問合せ 一般財団法人全日本海員福祉センター 03-3475-5391		
9	1日(木)～4日(日) 第13回《書統》全国展 問合せ 萱原書房《書統》事務局 03-3462-5251	6日(火)～11日(日) 2016全日本山岳写真展 問合せ 全日本山岳写真協会 杉木 03-3634-8030	13日(火)～18日(日) Gallery 1・2 同時開催 秋の日本水墨画展 問合せ 竹中 048-474-2239
	19日(月・祝)～22日(木・祝) 第22回 新和様・漢字造型書作家協会選抜展 問合せ 石橋 03-3234-3956	24日(土)～27日(火) Gallery 1・2 同時開催 50周年記念オール学習院書展 問合せ 石田 049-289-5296	28日(水)～10月2日(日) Gallery 1・2 同時開催 第13回 東京書藝展 問合せ 東京書芸協会事務局 042-345-6889
Gallery 2 (5F)			
7	13日(水)～17日(日) Gallery 1・2 同時開催 第5回 墨輪展 問合せ 松尾 048-686-4612		
	9日(火)～13日(土) Gallery 1・2 同時開催 Asian Art Fellowship 2016 ～Tokyo to Singapore～ 問合せ Asian Art Fellowship実行委員会 藤井 06-6311-1400	19日(金)～21日(日) Gallery 1・2 同時開催 第61回 群鷺書道展 問合せ 菅沼 090-7008-5580 042-622-5666	30日(火)～9月4日(日) 第36回 国際書道連盟役員展 問合せ 大岩 048-261-5679
9	7日(水)～9日(金) FOR STOCKISTS EXHIBITION 問合せ 池田・黒瀬 03-5775-9715	13日(火)～18日(日) Gallery 1・2 同時開催 秋の日本水墨画展 問合せ 竹中 048-474-2239	19日(月・祝)～22日(木・祝) 梨雲書展 問合せ 谷口 090-4546-8792
	24日(土)～27日(火) Gallery 1・2 同時開催 50周年記念オール学習院書展 問合せ 石田 049-289-5296	28日(水)～10月2日(日) Gallery 1・2 同時開催 第13回 東京書藝展 問合せ 東京書芸協会事務局 042-345-6889	
Atelier East (B1F)			
7	6月30日(木)～7月4日(月) 大正大学写真同好会SAVOY 学外展示 問合せ 大正大学 03-3918-7311	8日(金)～10日(日) 箱入り彼女展示会003 問合せ イトウシントロウ 090-4523-9061	16日(土)～19日(火) 第14回 豊島フォトクラブ作品展 問合せ 森岡 03-3917-7726
	26日(火)～31日(日) ホームシックギャラリー倶楽部 「草臥れ(くたびれ)の治し方」展 問合せ 三須 090-2631-0502		
8	5日(金)～8日(月) Atelier East・West同時開催 錦山塾第40回有志の展示会 問合せ 姜 090-5589-6885 03-3901-3447	17日(水)～21日(日) 一部有料 第3空間 Tokyo Parnassus 問合せ 松崎 03-3972-1476	23日(火)～28日(日) 無料 幸田奈々世写真展 「息を吸って、吐く」 問合せ 幸田 090-8762-0531
	29日(月)～9月4日(日) 無料 '16新世紀「板画の会」展 問合せ 三田 03-3998-6481		
9	5日(月)～11日(日) 無料 グランプリ総合写真展 問合せ 館野 090-2740-6443	13日(火)～18日(日) 無料 東風会 第9回 作陶展 問合せ 岸田 0422-43-8394	19日(月・祝)～22日(木・祝) 無料 第二十七回 泰永書展 －国際交流展－ 問合せ 泰永会事務局 03-3332-3701
	23日(金)～27日(火) 無料 2016三軌会写真部 第10回東京多摩支部展 問合せ 塚田 090-4953-3162	28日(水)～10月2日(日) 無料 第13回 アートるるの会作品展	
Atelier West (B1F)			
7	6月30日(木)～7月4日(月) 無料 第17回 啄葉会展 問合せ 青木 03-3934-1110	9日(土)～10日(日) 無料 第9回 墨哉展 問合せ 宮迫 090-5263-1181	16日(土)～19日(火) 無料 第二回 雛燕書展 問合せ 畠田 050-5278-2677
	27日(水)～31日(日) 無料 第45回 くれよん会展 問合せ 伊藤 03-3915-2891		
8	5日(金)～8日(月) Atelier East・West同時開催 錦山塾第40回有志の展示会 問合せ 姜 090-5589-6885 03-3901-3447	18日(木)～21日(日) 無料 第23回 創作者集団アートピククス展 問合せ 鈴木 03-3805-5111	23日(火)～28日(日) 無料 荒巻大樹写真展:池島 問合せ 荒巻 090-3602-1743
	30日(火)～9月4日(日) 無料 第5回 キヤノンフォトクラブ 東京DEMI写真展 問合せ 石川 090-4669-1131		
9	5日(月)～11日(日) 無料 写談撞んぼ 第11回写真展 問合せ 古谷 03-3487-3435	13日(火)～20日(火) 無料 第5回 火洋会 問合せ 天辻 042-421-2951	24日(土)～27日(火) 無料 第12回 日本画 一会の会展 問合せ 今田 042-467-3372
	28日(水)～10月2日(日) 無料 サロンDEポンドール 会員展 問合せ 浜崎 03-5932-1518		

近藤良平×コンドルズ「にゅ～盆踊り」  
7月16日(土)～17日(日) 17:30～ 池袋西口公園 無 料



池袋・夏の風物詩!!「にゅ～盆踊り」

近藤良平・コンドルズと一緒に夏の池袋で、盆踊りに参加しませんか？ 毎年大好評の「にゅ～盆踊り」、今年は拡大2日間開催決定！ 事前のワークショップに参加して、リーダーとなって盆踊り大会を盛り上げるもよし、当日ふらっと遊びにきていただくもよし。今年も、皆さんと一緒に！

お問合せ | あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)  
03-5391-0751

<http://www.owlspot.jp/>

主催:あうるすぽっと(公益財団法人しま未来文化財団)／豊島区  
共催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

第14回 東京フラフェスタ in 池袋 2016  
7月29日(金)～31日(日) 池袋西口公園ほか 無 料



池袋から広がるフラの風

今年で14回目を迎える「東京フラフェスタin 池袋」は、日本でも最大級のフラダンスのイベントです。今年の開催は、7月29日～31日の3日間。175のフラダンスチームのステージが繰り広げられ、真夏の池袋のまち全体がフラ一色に染まります。

【日程】前夜祭(池袋西口公園):7月29日(金) 本祭(池袋6会場)7月30日(土)・31日(日)  
【会場】池袋西口公園、池袋西口駅前広場、東武百貨店8F「スカイデッキ広場」、東池袋中央公園、サンシャインシティB1噴水広場、豊島区役所センタースクエア  
主催:東京フラフェスタin池袋実行委員会<豊島区観光協会・豊島区> 共催:池袋西口商店街連合会／サンシャインシティ／東武百貨店  
後援:東京都／ハワイ州観光局／財団法人ワイキキ・インブルー・メント・アソシエーション／NPO法人日本アロハ協会  
お問合せ | (一社)豊島区観光協会 03-3981-5849 (土日・祝日を除く9:00～18:00)

集まれ! 池袋みんなの大道芸  
9月～11月の週末 劇場前広場 無 料  
詳細はHPへ



一流のストリートパフォーマンスを劇場前広場で

「集まれ! 池袋みんなの大道芸」を9月から11月の週末に開催。第一線で活躍する選りすぐりのストリートパフォーマーたちが趣向をこらしたパフォーマンスをお見せします。ポールやディアボロなどのジャグリングにチャレンジできる参加無料の「チャレンジ広場」も同時開催。

お問合せ | 東京芸術劇場 事業調整係 03-5391-2116

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)／豊島区

演劇系大学共同制作公演 VOL.4「昔々日本」  
9月8日(木)～11日(日) シアターイースト 有 料  
詳細はP13へ



山本卓卓  
©斉藤裕平

東京演劇大学連盟(日本大学、桐朋学園芸術短期大学、多摩美術大学、玉川大学、桜美林大学)がタッグを組んで開催する、文化庁委託事業「平成28年度時代の文化を創造する新進芸術家育成事業」である演劇系大学共同制作公演。4回目となる今回は桜美林大学の卒業生で、新進気鋭の演出家 山本卓卓(範宙遊泳)の新作「昔々日本」をオーディションで選ばれた学生・若い演劇人により上演します。

作・演出:山本卓卓(範宙遊泳)

出演:オーディションで選ばれた  
演劇系5大学の学生と新進演劇人

お問合せ | 「昔々日本」制作部  
070-1470-7460

主催:文化庁／桜美林大学 共催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)  
後援:東京演劇大学連盟

「海外で活躍するプロフェッショナル」シリーズvol.6「原サチコのぶっちゃけドイツ演劇話4」  
7月26日(火) 19:00～ シンフォニースペース 有 料  
詳細はHPへ



原サチコ

ドイツ語圏内の劇場で活躍する俳優・原サチコ氏による講演会第4弾。今回は「ハンブルク・ドイツ劇場の今シーズン・難民との取り組みを中心に」というテーマでお話いただきます。聞き手は演劇ジャーナリストの伊達なつめ氏。海外での活動を視野におくアーティストや制作者をはじめ、海外の劇場や文化政策に関心を持つ皆様のご参加をお待ちしています。

お問合せ | 国際演劇協会日本センター  
03-3478-2189  
(平日11:00～17:00)

<http://iti-japan.or.jp/>

主催:公益社団法人国際演劇協会日本センター  
共催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)



野田秀樹  
俳優・演出家  
リロ・パウアー



## フィジカルシアターは演劇の故郷。

スイス生まれで、現在はフランスを拠点に活躍している演出家・女優のリロ・パウアーさんが4月に来日、芸劇主催の俳優向けワークショップで講師を務めた。リロさんは、野田秀樹芸術監督が1993年にイギリス留学した際に出会い、その表現力と人柄を尊敬して長く親交を続けている演劇人。1日だけワークショップに参加した野田芸術監督と、ふたりを結びつけるフィジカルシアターのメソッド、日本人俳優のポテンシャル、さらに世界の演劇事情まで語り合ってもらった。

### 日本人女性は、怒るのが苦手のような

野田 1993年にロンドンに留学した時にいろいろなワークショップに参加したんだけど、一番最初に行ったのがテアトル・ド・コンプリシテ<sup>※1</sup>クラスで、最初の先生がリロだったんですね。行くまで非常に緊張していたけど、リロの方法に一気にリラックスできたし、その内容に感銘を受けたんだ。

リロ 秀樹が素晴らしい俳優であることはすぐにわかったわ。誰よりも体が抜群に動いていたし、発想も天才的だった。でも最初は(ワークショップ中に他の人と絡まず)ひとりで遊んでいたわね(笑)。

野田 その頃はまだそれほど英語が喋れなかったからね。でもリロは、新作を作るワークショップに誘ってくれて、サイモンに紹介してくれて……。ちょっと轟(おどろ)かしてくれたよね(笑)。

リロ だって目立っていたもの。でも野田秀樹という人がどういうキャリアの持ち主か、まったく知らずに出会えたのがよかったんだと思うわ。その時の私

にしてみたら、ちょっと頭のおかしな日本の俳優だった(笑)。

野田 言葉が不利な分、気がふれたように動いて見せるしかないと思った。まだあの頃は跳べたしね(笑)。

リロ 今回、東京芸術劇場に呼んでいただいて日本の俳優たちと接して、彼らはヨーロッパの俳優よりも身体的に優れていると感じたの。体に強度があるわね。普段からそういうトレーニングを積んでいるのかしら。例えば、真っ直ぐの姿勢で立って、手を使わず徐々に腰を落としていくエクササイズをやったけど、ヨーロッパではほとんどの俳優が深くしゃがめないんです。私も4回やって、今このへん(太ももの後ろ側)がちょっと痛くなっているくらい——それは年齢のせいかもしれないけど(笑)——で。でも日本の参加者はみんな難なくできていて驚いたわ。

野田 しゃがむのは比較的、日本人は得意かもしれないね。

リロ それとヨーロッパの演劇はテキスト(戯曲)中心だから、言葉だけにこだわる人が多いけど、日本人俳優のほうが柔軟で、歌や踊りを表現に取り入

れることに抵抗がないんじゃない? 私がいつもワークショップで目指しているのは——秀樹はよく知っていると思うけど——、まず、そこにいる全員がお互いに安心できる状態をつくることだけど、今回集まってくれた人たちは上手く伝わって実行できたように思うわ。その状態ができて初めて、次々と即興ができる。即興は一瞬で動物になったり家具になったりするのだけど、それらも全部魂を持っているから、演じるほうも体だけでなく魂を使わなくてはいけないし、それを続けていくと、みんながさらに心を開いていけるのよね。ただ、日本の女性は怒りを表現するのがあまり得意じゃないのになって思ったんだけど。

野田 デヴィッド・ルヴォー(イギリス出身の演出家で、日本でも多くの演出作品がある)が同じことを言っていたよ。それとつながることを僕も以前から感じていて、日本の女優にエチュード(戯曲は無く、演出家が決めた設定に沿って俳優が自分でせりふを考えて演技する)をやってもらう時にまず言う言葉が「泣きの演技をしないで」なんだよね。日本の女優の多くは、まず泣いている状態から始めようとする。お茶を出しながら「どうぞ」と泣いていて(笑)、そこから感情を読んでもらおうとする。怒りとは逆に、内に向く癖があるんだと思う。対照的に日本の男優は、まず笑ってエチュードを始めたがる。理由はない、たぶんせりふに困っているんだろうね(笑)。とりえず「あーっはっは」と出てきて、「ところで」とつなげるんだ。だからリロの印象は、とても的確な指摘だと思うよ。

リロ なるほどね。思い出したわ、ルコック国際演劇学校<sup>※2</sup>の授業で聞いた40年ぐらい前の話なんですけど、東京でパフォーマンスをした時に、クラウンの芸でお客さんがひとりも笑わなかったんですって。それなのに本番が終

※1: 体の動きに重点を置いたフィジカルシアターの先駆的な劇団で、1983年にサイモン・マクバーニーを中心に立ち上がった。マクバーニーは日本でも『エレファント・パニッシュ』や『春琴』を演出。

わったあと大勢の人がやって来て「すごく楽しかったです、とてもおもしろかったです」と口々に言う。ルコックたちは「じゃなぜ笑わなかったの?」と聞くと、お客さんたちはみんなこうして(口に手を当てて)笑っていたって。敬意を表して、歯を見せないように。それは文化の違いを表す小さなエピソードだけれども、俳優がそれでは困るのよね。(口に当てていた)手をどけて自分を解放しないと。

野田 手を当てて笑う人はだいふ減ったけどね。僕も思い出したよ、同じ時代の同じようなエピソードを。60年代か70年代、実験的な演劇が流行っていて、観客の前に箱を山積みにする作品があった。ヨーロッパの観客はそれが実験の一環だとわかって、自分でどけて箱の向こうの役者を観ただけど、日本のお客さんは積まれた箱をずーっと観ていたって。ある意味、かなりシュールだよな(笑)。

リロ ブラボー、それは素晴らしいわ(笑)。

### ゲーム性を取り入れるから、体で考えられる

野田 23年ぶりに指導しているリロを見て、初めて参加した日のことが蘇ったよ。今日は、役者として参加させてもらったけど、正直に言うと、最初はちょっと怖かった。最近はワークショップをリードする側だし、戯曲を書いたり演出したりする時間のほうが圧倒的に長いから、単純に役者としてそこにいるということがほとんどないからね。何気なく「誰か最初に4人、前に出てきて」と言われても、なかなか足が動かなかった。でも、こういうところで守りに入っちゃいけないと思い直して、一番最後の発表では、上手く行かなくてもいいと思って最初に出た。そういう、リスクを冒すことを怖がらないのは、役者の基本だよな。

リロ その通り! イギリスでは最近、フィジカルシアターを歓迎しない人たちもいるの。その人たちは、インドネシアの昔のダンスや中国の曲芸といったものをもとに物語を立ち上げるのは、芸術的ではないと思っているらしいのね。でも私は、テキストだけに頼らず、体を通して考えて表現すること、そこに緊張感と物語を持ち続けることが、とても大事だと思うの。今仕事をしているコメディ・フランセーズでも、台本が置かれたテーブルを全部片付けてもらってから稽古を始めるのよ(笑)。

そうそう、フランスでNODA・MAPの『エッグ』を観たけど、最初は何も無いところに、俳優たちの動きで「フォッフフォッフフォッフ!」といろんなものが現われては変化していったわよね。次々に空間の印象が変わっていった。あれは本当に素晴らしかったわ。あんなふうに観客を想像力の中に引き込むのが私は大好きなの。多くの人はフィジカルシアター＝やたらと動く舞台だと思っているけど、そうじゃない。

野田 ただ動くだけなら、ワークショップはしなくていい。

リロ だから私がいつも重要視しているのはゲーム性なの。例えば「ステータスゲーム」と言って、そこにいる人の身分を1から10に分けて行き、その数値によって人と人の関係性がどう変わるのか、自分の中に生まれる感情がどう変化するかを考えてもらったり、動物が登場する物語では、演じる動物のキャラクターを借りて、俳優が自分の内面を展開させていくことを経験してもらうの。「自分はこのせりふを喋れるかな?」と考えてしまう言葉も、動物を自分の中に取り込むことで言えたりする。本当はそっちの方が難しいのよ。でも(ゲーム性があれば)できる。それが私のワークショップの狙いね。

※2: フランスのバントマイム俳優であるジャック・ルコックが1956年に設立。一人ひとりがおもつ個性豊かな身体の可能性を最大限に引き出すことに主眼を置くその教育システムは、世界中の演劇人に計り知れない影響を与え、太陽劇団のアリアーヌ・ムニュー・シュキンや、テアトル・ド・コンプリシテのサイモン・マクバーニーなど多くの才能を輩出している。





野田 ワークショップと公演の稽古について言えば、僕はできるだけ同じ気持ちでやっているつもりなんだけど、公演は困ったことに初日がある。忘れようと思うんだけど、近付いてくると自分の下品さが顔を出して、いわゆるサクセスというか、評判や批評といったものがチラチラと気になってくるんだよね。

リロ 私も同じよ。

野田 それ以外は、少なくとも取っ掛かりはワークショップと同じ気持ちで取り組んでいる。さっき、リロはまずはじめに稽古場のテーブルをどかしたって言っていたでしょう？ あの気持ちはすごくよくわかるんだ。稽古初日に、本読みのために、気を利かせてテーブルが口の字の形に組み立ていたりすると、ちょっとイラッとするんだよ、会議じゃないんだからって。

リロ すごーくわかる！（笑） コメディ・フランセーズでオペラの演出をする時もそうよ。大量の書類を持った人たちがズラッと並んでいて、最初の頃は遠目に見学していたの、難しい顔でメモを取りながらね。でも、思い切ってその人たちにも参加してもらおうようにしたの。アシスタントマネージャーや技術チームの人たちにも「だめだめ、メモするよりも参加して！」と言って。

だって、コメディだろうがシリアスな劇だろうが、作品をつくるためにそこにいるということは、みんな舞台のことが好きなのよ。だから私は、リハーサルの時間をつらいものにしたくないの。悲劇をやったとしても、稽古場から帰る時に、リュックサックの中に重い石をいっぱい詰めたような気持ちになってほしくない。つくっているものに愛を持てば、必ず発見はあるはずよ。

野田 そうだ！ 今、突然思い出したんだけど、僕が1999年に書いた『パンドラの鐘』という芝居に、リロはすごい影響を与えているんだよ。

亡くなった王のために人身御供が生き埋めにされるシーンがあって、連れて来られた墓掘人が女王に「どうせ自分は死ぬんだから、ここでひとつ賭けをしませんか？」と持ちかけるのね。「女王様、もし私があなたの洋服を脱がすことなく、あなたのおっぱいに直に触ることができたら、私を埋めないでください」と。女王が「いいわよ、賭けをしましょう」って言うと、おもむろにドレスの上からおっぱいを触って「負けた……」と言うんだけど（笑）、あのエピソードは実はリロが僕にやったことなんだよ。覚えてる？ イギリスで僕が『パンドラの鐘』を書いている時期に、リロがグロープ座に出演していて、それを観にいった時だよ。ワインを飲んでいたら「秀樹、あなたのズボンを脱がせないであなたの大事なところに触ってみせるから、賭けをしない？」って。

リロ そうだったわね、思い出したわ（笑）。

野田 よくわからないけど「いいよ」と言ったら「本当に？」と聞いてくるから「別に構わないよ、じゃあ賭けしようか……」と言った途端に、ズボンの上からガバツと触って「あ、負けた……」って（笑）。その時に、これは使えんと思って早速使わせてもらったんだ。こういう公の場所でちゃんと言っておかないとね。ありがとう。

リロ あはは、コピーライト（著作権）をもらわなくちゃ。

## スターシステムの効果とその先

野田 リロとは何を話していても楽しいんだけど、演劇全般の未来が明るいかと言ったら、問題はいくつもあるよね。

リロ 客席をいっぱいにするという問題を、スターをキャスティングすることで解決することは多いわね。ロンドンもパリもそう。例えば、ある劇場では、テレビや映画に出ているスターが見られるということで最初は超満席だったけど、その人の演技がお粗末で、休憩時間にどんどん帰っていったケースもあったわ。

野田 それがパリの素晴らしいところだよ。日本はどんなにつまらないと思っても、途中で帰る人はほとんどいない。

リロ 確かにそれはいいところかも。俳優が良くても作品が悪くなかったら帰ってしまう人も多いし。劇場がどう観客を増やすかは、みんなが知恵を巡らすところよね。今、ギリシャは国全体にお金がないから文化予算も少ないんだけど、若い人たちが集まって、お金がないなりに工夫しておもしろい芝居をつくり、クチコミでお客さんを増やしているんですって。それは基本中の基本だけど、そうやって原点に帰るのは、もしかしたら私たちにとって必要なことかもしれないわね。俳優や芸術監督の名前であったり、派手な仕掛けや豪華なセットではなく、内容で勝負するのは。ゼロから這い上がって成長していくのは、私はすごく好き。

野田 NODA・MAPにもたくさん日本のスターがでているんだよ。リロが観てくれた『エッグ』もそう。

リロ 私にとっては秀樹がスターよ！

野田 ありがとう（笑）。いや、まじめな話、海外で公演をする良さはそこなんだ。だってリロは、妻夫木聡や仲村トオルがどんなに人気があるのか全く知らないのに、それでも「良かった」と言ってくれた。他のお客さんも批評家も同じで、そこがきわめて大事なの。僕もそこに自負を持っていて、テレビの人気者をキャスティングするとしても、ちゃんとしたクオリティの舞台をつくることだけが大事なんだ。

リロ 同意するわ。

野田 スターを使うのが必ずしもいけないことではないと、僕は考えている。やっぱりスターは、多くの人を惹きつけるものを持っている場合が多い。

100%ではないけどね。

そういう意味で言うと、例えば妻夫木が最初にNODA・MAPのワークショップに参加した時、おそらく今ほどのスターではなかったと思うんだよね。瑛太にしてもそう。初めてワークショップで会った時は10年以上前だから、今とは全然違っていた。昨日も学生のワークショップに瑛太がちょっと顔を出してくれたんだけど、それこそ動きや発想が素晴らしかった。舞台俳優としてのすごく良くなっている。それは彼がスターであることとは関係ないんだよね、俺の中で。

リロ ベネディクト・カンバーバッチも大スターだけど、舞台俳優としての彼は本当に素晴らしいもの。その時に大事になってくるのは宣伝よね。「たくさんの映画に出ている彼が舞台に出ます！」という表現はやっぱりおかしいわ。もともと舞台出身なんだから。メディアがそうやって誤解を与えてしまうことには注意が必要ね。

野田 日本では芝居を観に来た人にアンケートを書いてもらうことが一般的なんだけど、よくあるのが「誰々さんというスターを見に来たのが、いつの間にか作品に吸い込まれていた」というものなんだよね。演劇を観るひとつのきっかけにはなるよね。

リロ フランスでも状況は一緒。テレビや映画でお馴染みの人も、映画にたくさん出ているけれど、本国ではとても有名でもちよっと離れたら知名度なんて当てにならない。なので、要は有名無名ということにはとらわれずに俳優と接することこそ大切だと思うの。

野田 そういえば、リロはさっき「家具にも動物にも魂があって」という話をしていたけど、どんなものも魂を持てるという考え方は、アニミズムの世界、子供の世界に流れているものだよな。子供はすべての対象に命を感じて遊び、この感覚を失うと、人は急速につまらなくなる。と同時に、子供は常にフィジカルじゃないですか。ずっと動き続けている。フィジカルシアターという名前がついているから特別に感じるかもしれないし、演劇の一形態のように思えるけど、芝居はもともと幼児的なアニミズムから来ているわけで、フィジカルシアターのほうが演劇の故郷なんだよ。

リロ 素晴らしいわ、秀樹、全くその通りよ！

取材・文：徳永京子  
対談通訳：岩崎 MARK 雄大 写真：渡部孝弘



## 今回のアイタイヒト

### リロ・バウアー LILO BAUR

スイス生まれの俳優・演出家。テアトル・ド・コンプリシテのメンバーとして同劇団の作品に多数出演。来日公演も行われた「ルーシー・キャプロルの三つの人生」では数多くの賞を受賞した。その後もピーター・ブルックをはじめ多くの舞台作品や映画に出演。さらに、演出家としての仕事も精力的におこなひ、コメディ・フランセーズの「他人の首」はベストプレイに選出されボー・マルシェ賞を受賞している。

### 野田秀樹 HIDEKI NODA

1955年、長崎県生まれ。劇作家・演出家・役者。東京芸術劇場芸術監督、多摩美術大学教授。東京大学在学中に「劇団 夢の遊眠社」を結成。92年劇団解散後、ロンドンへ留学。帰国後の93年に演劇企画製作会社「NODA・MAP」を設立。以来『キル』『赤鬼』『パンドラの鐘』『THE BEE』『ザ・キャラクター』『エッグ』『MIWA』『逆鱗』などの話題作を発表。歌舞伎『野田版 研辰の討たれ』や、モーツァルト歌劇『フィガロの結婚』～庭師は見た！～の演出、海外での共同制作など、演劇界の枠を超え国内のみならず海外でも精力的な創作活動を行う。様々なアーティストとの文化混流による「東京キャラバン」を2016年より展開。

## ワークショップ・レポート

### リロ・バウアーによる俳優・ダンサーのための演劇ワークショップ



2016年4月18日～22日、24日～29日  
東京芸術劇場リハーサルルームにて実施。

東京芸術劇場では、教育普及事業の一環として、様々なワークショップを開催しています。その一プログラムとして、リロ・バウアーによる連続5日間のワークショップが計2回開催され、多くの俳優や演出家、ダンサーらが参加しました。

彼女は、サイモン・マクパーニー率いるテアトル・ド・コンプリシテの「ルーシー・キャプロルの三つの人生」で主演をつとめた俳優であり、昨今はオペラをはじめとする演出も数多く手掛けています。ルコック国際演劇学校やコンプリシテの活動を通して培ったワークショップ・アプローチはとてもユニークかつ実践的。チェーホフやカフカ、ゴーゴリといった作家の短いテキストを用いながら、様々なエチュードを個人や少人数グループで創作し、身体の可能性を最大限に生かす術を実践的に体得していく試みでした。

ワークショップを受講した参加者たちからは「多くのことを考えるきっかけを与えられた」「新鮮な発見に満ちていた」「とても有意義な5日間だった」などの感想が寄せられました。





国際共同制作 野田秀樹 作 オン・ケンセン 演出

三代目、りちゃあど

2016年4月29日～5月1日  
「ふじのくに」でせかい演劇祭2016 静岡芸術劇場にて世界初演

撮影：石川純

## シェイクスピア＝野田秀樹の脳内に入り込む！

あらゆる民族や言語を視野に入れた作品で定評あるシンガポールの世界的演出家オン・ケンセンが、日本文化の多様性に着目し多層構造の野田作品に初挑戦。そのカオスに満ちた静岡での初演の様子をレポートする。

こここのころ、宮城聡演出『真夏の夜の夢』（'11年・'14年・'15年）、今回のオン・ケンセン演出『三代目、りちゃあど』と、野田秀樹がシェイクスピアを扱った'90年代の作品が、相次いで蔵出しされている。野田の夢の遊眠社時代を知らない世代にとっては、新鮮に思えて当然だろうけれど、かつて観ていたはずなのに、まるで初めて接するような鮮烈な驚きを覚えてしまうのは、当方の記憶力の問題ばかりでもないと思う。特にケンセンの『三代目、りちゃあど』は、野田および遊眠社の特徴だった疾走感やハイテンションの衣が剥ぎ取られ、多言語の俳優たちによって、言葉遊びやジョークも封じられている。あらゆる装飾や目くらましの要素が取り払われて、戯曲の本質がかなり露わになっているのだ。

多民族国家シンガポールの出身で、クロス・カルチャー的な作品創りが多く、活動範囲もグローバルなケンセンは、今回も日本、シンガポール、インドネシアという、得意の多国籍キャストで臨んでいる。さらに日本の俳優陣には、歌舞伎の中村吉太郎、狂言の茂山童司、宝塚歌劇団出身の——と今さら言うのは不本意ながら、今回は日本の芸能の一形態としての宝塚を代表している——久世星佳、小劇場系の江本純子など、それぞれ異なる演技様式をもつ人々を揃えて、日本の古今の芸能の多様性にまでアプローチする意気込みだ。

リチャード三世は、ほんとうに不具で悪人だったのか。リチャード＝りちゃあど（吉太郎）の罪を裁く法廷で、同じようにシェイクスピアに悪人として描

かれた『ヴェニスの商人』のシャイロク＝シャイロク（シンガポールの女優ジャニス・コー）が弁護人となって、検事であるシェイクスピア（童司）と対決する。この主筋に、原典やシェイクスピアの家族、華道の家元継承騒動までが錯綜するただでさえ多層的な戯曲を、ケンセンは多様なキャストの各演技スタイルと言語を活かしたまま、一部男女のジェンダーを入れ替えるなどしてさらに安定を覆すことで、混沌の常態化をもたらしてみせる。通奏低音のように流れ続ける電子音楽と、舞台全面に投影される様々な映像がそれに拍車をかけ、観ているうちに、なんだか思考が麻痺し、夢うつつのトリップ状態が招来する。誰が実在し誰が架空の人物なのか。何が真実で何が虚構か。善と悪、仕事と私生活……。あらゆる対立的事象が底なし沼のように渦巻く作家の内部を、人間たちと共に、「虚」や「陰」を象徴するインドネシアの影絵芝居が表現する。いつしか影絵芝居を見物する登場人物たちの姿もシルエツトになり、すべてが物語＝作家の頭の中に帰ってゆくかのようなシーンが印象的だ。

当時の野田秀樹の脳内を客観視したようなこのケンセン版『三代目、りちゃあど』は、国際共同制作によってバリ島や香川の琴平で稽古を重ね、今春静岡で世界初演。9月にシンガポールで上演された後、11月から12月にかけて東京と関西・四国・九州各地を巡演する。不思議な浮遊空間につき、場所を変えるごとに柔軟に変容し、これからも進化してゆくに違いない。

文：伊達なつめ（演劇ジャーナリスト）

**東京公演** 11月26日（土）～12月4日（日） シアターウエスト 日本語・英語・インドネシア語上演／日本語・英語字幕 熊本、吹田、高知、福岡公演あり  
出演：中村吉太郎／茂山童司／ジャニス・コー（シンガポール）  
ヤマン・C・ヌール／イ・カデック・ブディ・スティアワン（インドネシア）／江本純子／たきいみき 久世星佳

## INFORMATION

### 受講生募集

芸劇ジュニア・アンサンブル・アカデミー ～読響メンバーによるスキルアップ・プログラム～  
東京芸術劇場と事業提携を結ぶ読売日本交響楽団による、未来の演奏家育成のためのアカデミーを開講します。

【コース】弦楽アンサンブル（ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス）  
※コントラバスは楽器貸出もあります。

【対 象】小学校高学年～高校生【募集期間】7/1（金）～7/31（日）【必着】

【参加料】20,000円（全10回）

※オーディションの参加は無料※年度途中からの参加も受け付けます。事務局へご相談ください。

講師：伝田正秀（読売日本交響楽団アシスタント・コンサートマスター）ほか

練習曲：モーツァルト：ディヴェルティメントK.138 第1楽章

ドヴォルザーク：弦楽セレナードOp.22 第1楽章 など

申込書送付・お問合せ先／〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1 東京芸術劇場「ジュニア・アンサンブル・アカデミー」係 TEL.03-5391-2114

鑑賞サポート| 目や耳の不自由な方を対象に、舞台・公演説明会、字幕機提供サービス（無料・要事前申込）等を実施しています。詳細は事業ごとに異なります。

7～9月  
対象公演

7月19日「ランチタイム・パイプオルガンコンサートVol.117」  
8月3日「ナイトタイム・パイプオルガンコンサートVol.15」

※どちらも定員10名（先着順・付添者を除く）

お問合せ

東京芸術劇場ボックスオフィス  
0570-010-296



Ristorante di cucina Toscana  
**AL TEATRO**  
"アル・テアトロ"

本格的なイタリア料理や  
イタリアンワインをリーズナブルに。  
観劇前には、プレシアターメニューも  
ご用意してお待ちしております。





cafe & bar  
**ensemble**

落ち着いた雰囲気の内店は、  
お待ち合わせやちょっとした  
打ち合わせにも便利です。

AL TEATRO & cave & bar ensemble 東京芸術劇場 2F  
アル・テアトロ／営業時間11:00～22:00（休館日を除く） TEL.03-3984-2221 カフェ&バー アンサンブル／営業時間11:00～21:00（休館日を除く） TEL.03-3984-2220



GONTA  
おにぎり

素材にこだわったボリュームたっぷりのおにぎりを  
丁寧に作っています。日替わりランチボックスや  
厳選した雑穀を使った「十五穀おにぎり」も  
ぜひお試しください！



GONTA 東京芸術劇場 1F  
営業時間10:00～19:30（休館日を除く） TEL.03-5928-0813





## Theatre ART SHOP

シアターアートショップ

アート雑貨、輸入雑貨、絵画や  
音楽・演劇関連商品、  
額のオーダーなど劇場内ショップ  
ならではの品揃えでお待ちしています。  
芸術劇場パイプオルガンを象った  
ブックマークも販売。



シアターアートショップ 東京芸術劇場 1F  
営業時間10:00～20:00（休館日を除く） TEL.03-5950-3655

詳細情報は、劇場公式サイトもしくは各店舗にてご確認ください。 <http://www.geigeki.jp/house/shop.html>